



AKIBA ホールディングス

2021年 3 月期 決算説明資料
2021年 5 月14日

1. 2021年 3 月期通期決算
2. 2022年 3 月期業績予想
3. 2021年 3 月期第 4 四半期業績
4. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
5. 総括
6. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

※ 資料中の数字の単位は、別途指定ない限りすべて百万円

1. 2021年 3 月期通期決算
2. 2022年 3 月期業績予想
3. 2021年 3 月期第 4 四半期業績
4. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
5. 総括
6. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

セグメント

第3四半期よりその他セグメントにおいて事業開始

メモリ製品製造販売
(メモリ)

株式会社アドテック

メモリ製品の製造・販売、IoTソリューション事業 等

通信コンサルティング
(通信)

株式会社バディネット iconic Storage株式会社

株式会社トランテンエンジニアリング

エンジニアリング事業、コンタクトセンター事業 等

※トランテンエンジニアリングは第4四半期から連結

※iconic Storageとトランテンエンジニアリングは2021年4月1日にバディネットに吸収合併

HPC
(HPC)

株式会社HPCテック

科学技術コンピュータの製造・販売

その他
(その他)

株式会社ダイヤモンドペット&リゾート

旅館事業、ペット商品事業、IT事業、イベント事業
不動産事業 等

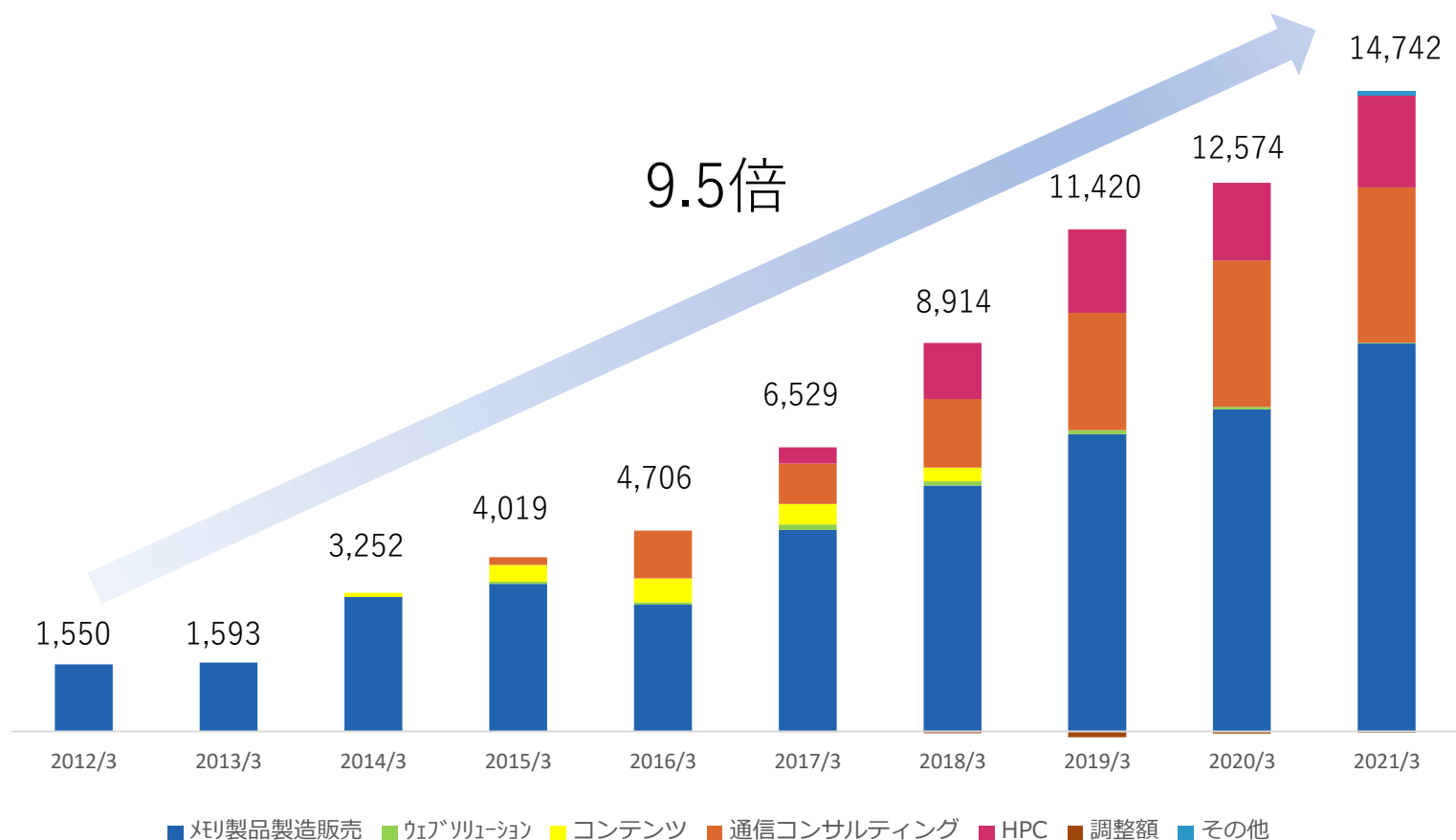
概況

全報告セグメントで増収増益、業績予想達成

連結	全報告セグメントで増収増益、その他の損失吸収し増収増益 売上高 : 14,742 前年同期比 : 117.2% 営業利益 : 697 前年同期比 : 108.6%
メモリ製品製造販売	1 Qの好業績に加え 4 Q増収増益で積み増し、大幅増収増益 売上高 : 8,962 前年同期比 : 120.6% 営業利益 : 335 前年同期比 : 161.9%
通信コンサルティング (通信)	バディネット拡大、前期の会社売却の影響払拭して増収増益 売上高 : 3,581 前年同期比 : 106.0% 営業利益 : 335 前年同期比 : 105.4%
HPC (HPC)	3 Qから回復、4 Q大幅増収増益で積み増し、増収増益 売上高 : 2,123 前年同期比 : 118.3% 営業利益 : 219 前年同期比 : 103.0%
その他 (その他)	4 Qの緊急事態宣言の影響もあり、営業損失計上 売上高 : 106 前年同期比 : - 営業利益 : -54 前年同期比 : -

連結売上高 通期

全報告セグメント増収、9期連続増収で9.5倍に



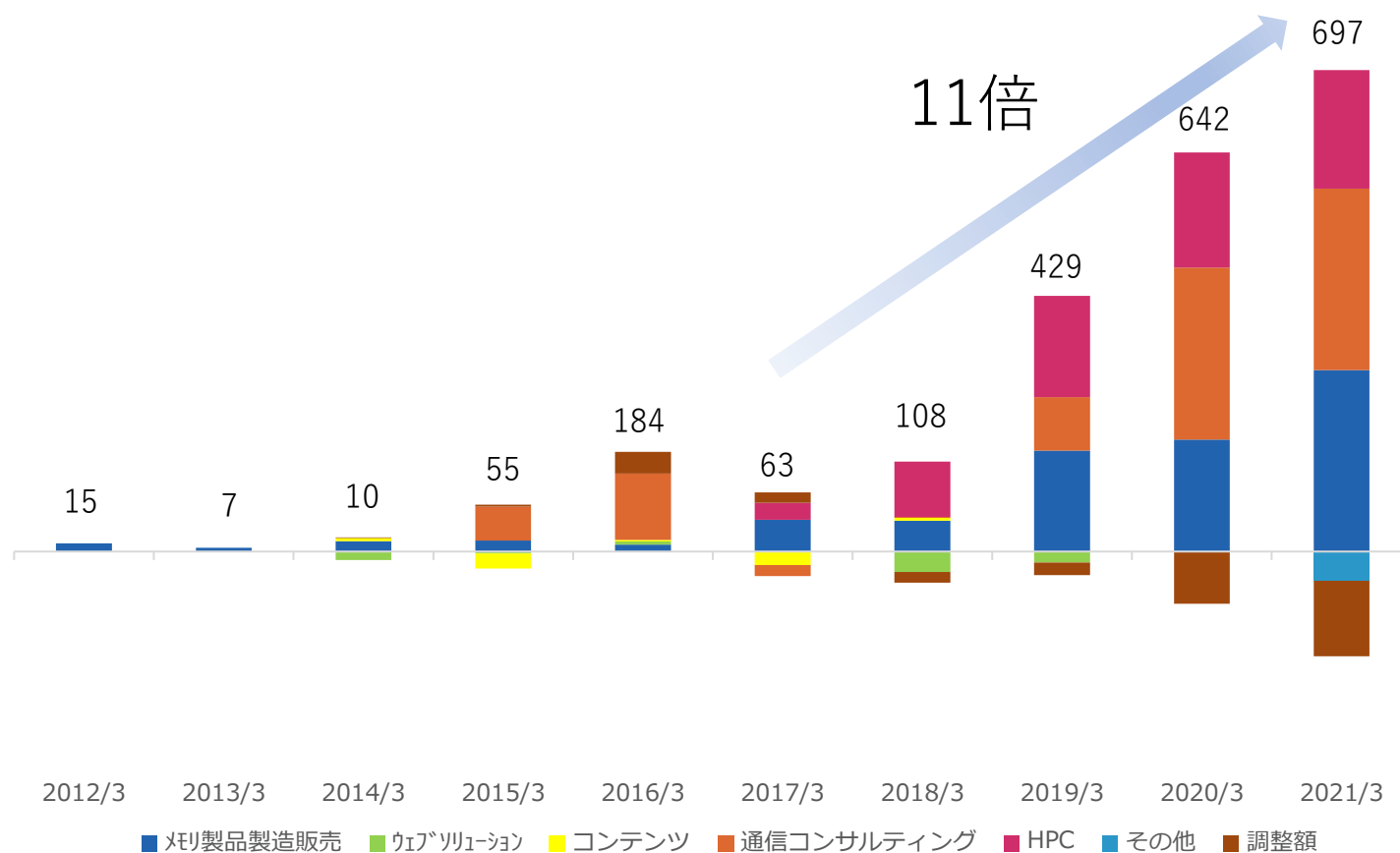
※ 2013年3月期まではアドテック（メモリ製品製造販売）単体

※ 2016年3月期第3四半期からホールディングス化

※ 調整額はセグメント間の内部売上高または振替高

連結営業利益 通期

全報告セグメント増益、4期連続増益、11倍に



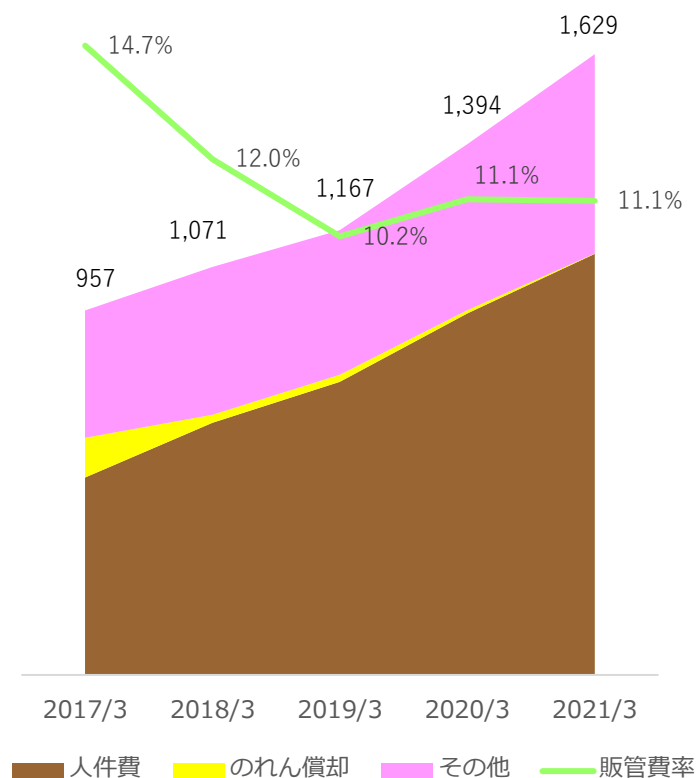
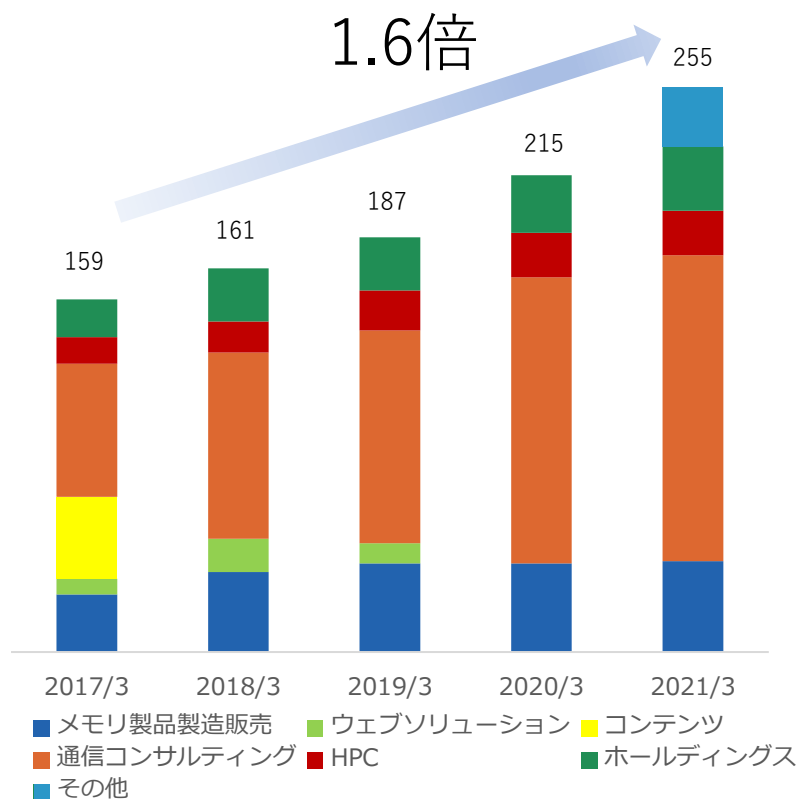
※ 調整額は主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費、持株会社に対する経営指導料の消去

1.2021年3月期通期決算

役職員数、販管費

成長分野、新規事業、管理部門で
採用強化、順調に増加

事業拡大で人件費、その他販管費共に
増加も、利益拡大で販管費率は横ばい



※ 各年度末実績、役職員＝役員、正社員、契約社員、アルバイト、単位は人

※ 人件費＝各種給与、役員報酬、各種賞与、退職金、通勤交通費、採用費、教育費、福利厚生費（各引当金含む）

連結貸借対照表

事業拡大続き、BS規模も拡大続く

	2020年3月期 期末	2021年3月期 期末	前期末比	トピックス
流動資産	6,731	7,976	118.5%	・ 事業拡大続き、棚卸資産及び資本金を除き全て増加、BS規模全体が拡大 ・ 前Q比売上高増加で売掛債権引き続き増加 ・ 売上高と仕入のバランス改善で棚卸資産引き続き減少 ・ 期中に計上した新規事業にかかる開業費を全額償却 ・ 長期、短期とも借入金は増加 ・ 引き続き利益剰余金増加
現預金	2,584	3,752	145.2%	
売掛債権	2,714	3,351	123.5%	
棚卸資産	1,328	705	53.1%	
固定資産	226	403	178.6%	
繰延資産	—	—	—	
資産合計	6,958	8,380	120.4%	
流動負債	4,582	5,414	118.2%	
短期借入金	2,600	2,800	107.7%	
買掛金	1,116	1,644	147.4%	
固定負債	524	718	137.0%	
長期借入金	412	596	144.7%	
負債合計	5,107	6,133	120.1%	
株主資本	1,696	2,042	120.4%	
資本金	700	700	100.0%	
利益剰余金	526	872	165.7%	
負債・純資産合計	6,958	8,380	120.4%	

連結損益計算書

全報告セグメントで増収増益

	2020年3月期	2021年3月期	前期比	トピックス
売上高	12,574	14,742	117.2%	・ 全報告セグメントで増収増益 ・ 増員等投資、開業費償却等により販管費増加も、売上高大幅増加により売上総利益、営業利益ともに増加 ・ 前期は子会社株式売却による特別利益が発生していたため、当期純利益は前期比56.6%に ・ 欠損金の充当なく、法人税は微減にとどまる
売上原価	10,538	12,416	117.8%	
売上総利益	2,036	2,326	114.2%	
販売費及び一般管理費	1,394	1,629	116.9%	
営業利益	642	697	108.6%	
営業外収益	57	39	69.5%	
営業外費用	62	53	85.7%	
経常利益	636	682	107.3%	
特別利益	365	—	—	
特別損失	—	—	—	
税金等調整前当期純利益	1,001	682	68.2%	
法人税等合計	300	285	95.3%	
当期純利益	701	396	56.6%	
非支配株主に帰属する当期純利益	47	51	108.0%	
親会社株主に帰属する当期純利益	654	345	52.8%	

1. 2021年3月期通期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. 2021年3月期第4四半期業績
4. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
5. 総括
6. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

業績予想

成長投資と5期連続増収営業増益の両立を目指す

メモリの特需の反動が見込まれるも、バディネット拡大継続
事業拡大への投資も吸収し利益を確保しつつ、来期以降の成長可能性を広げる

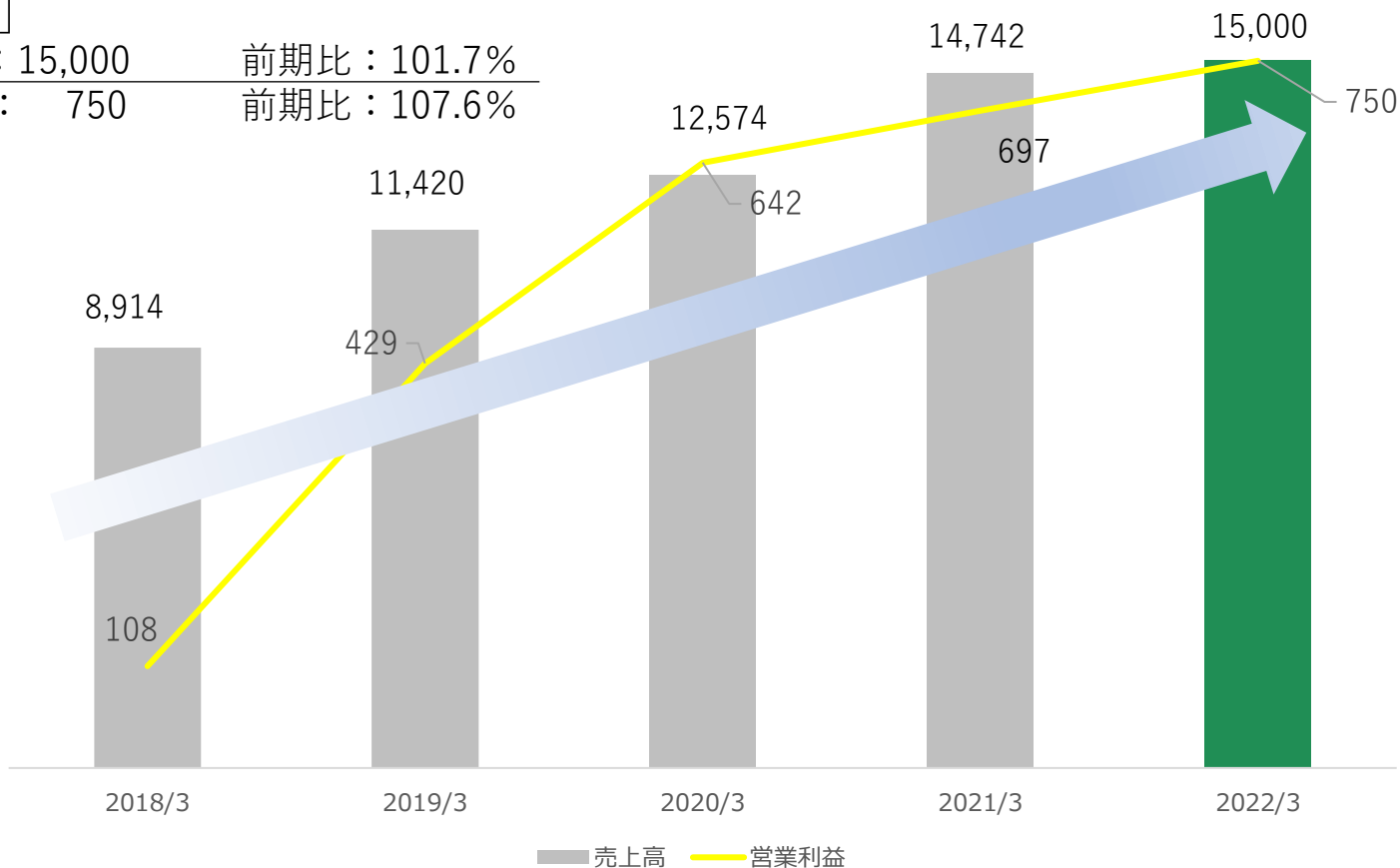
[通期予想]

売上高：15,000

前期比：101.7%

営業利益：750

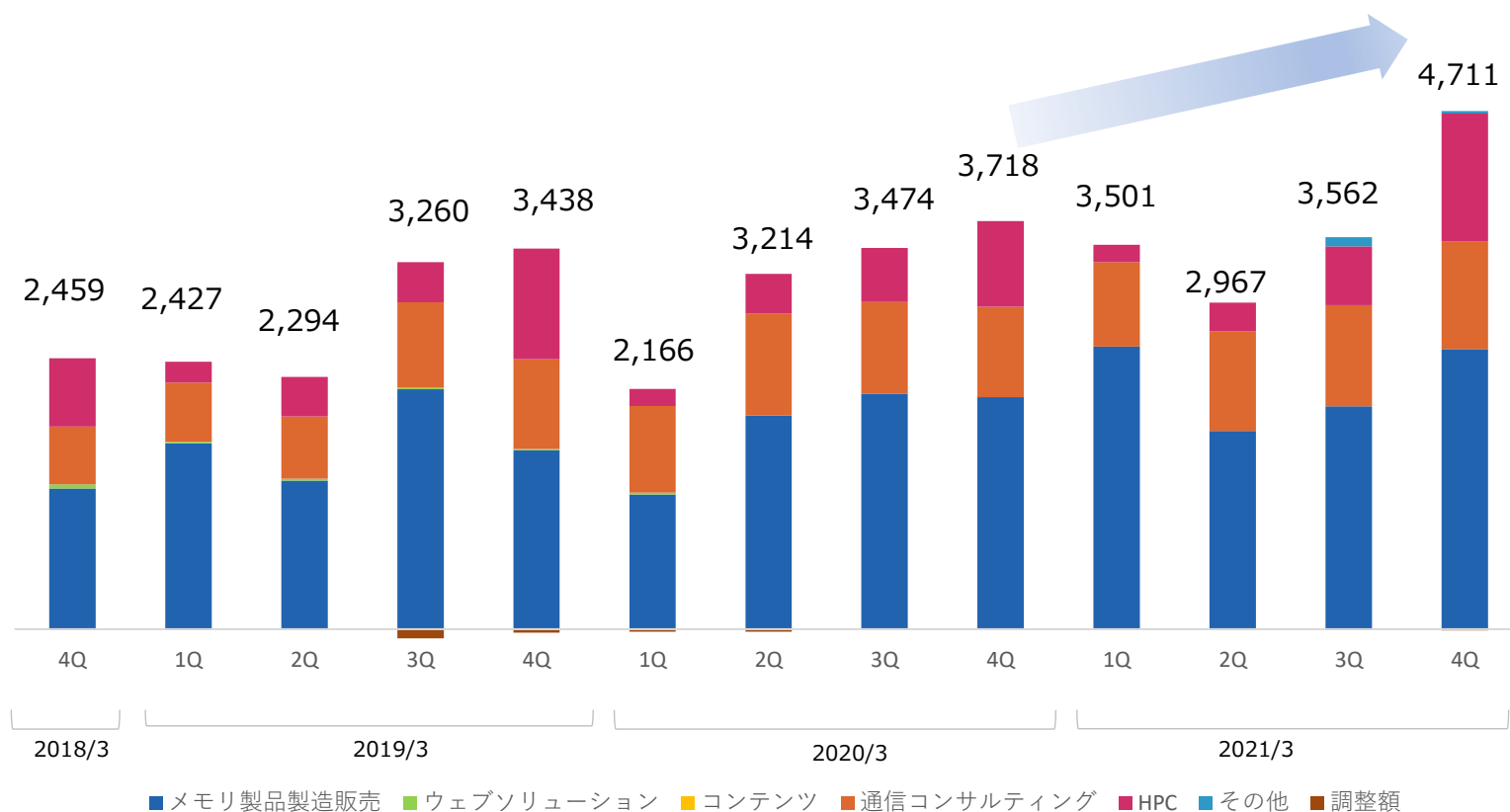
前期比：107.6%



1. 2021年3月期通期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. 2021年3月期第4四半期業績
4. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
5. 総括
6. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

連結売上高 会計期間

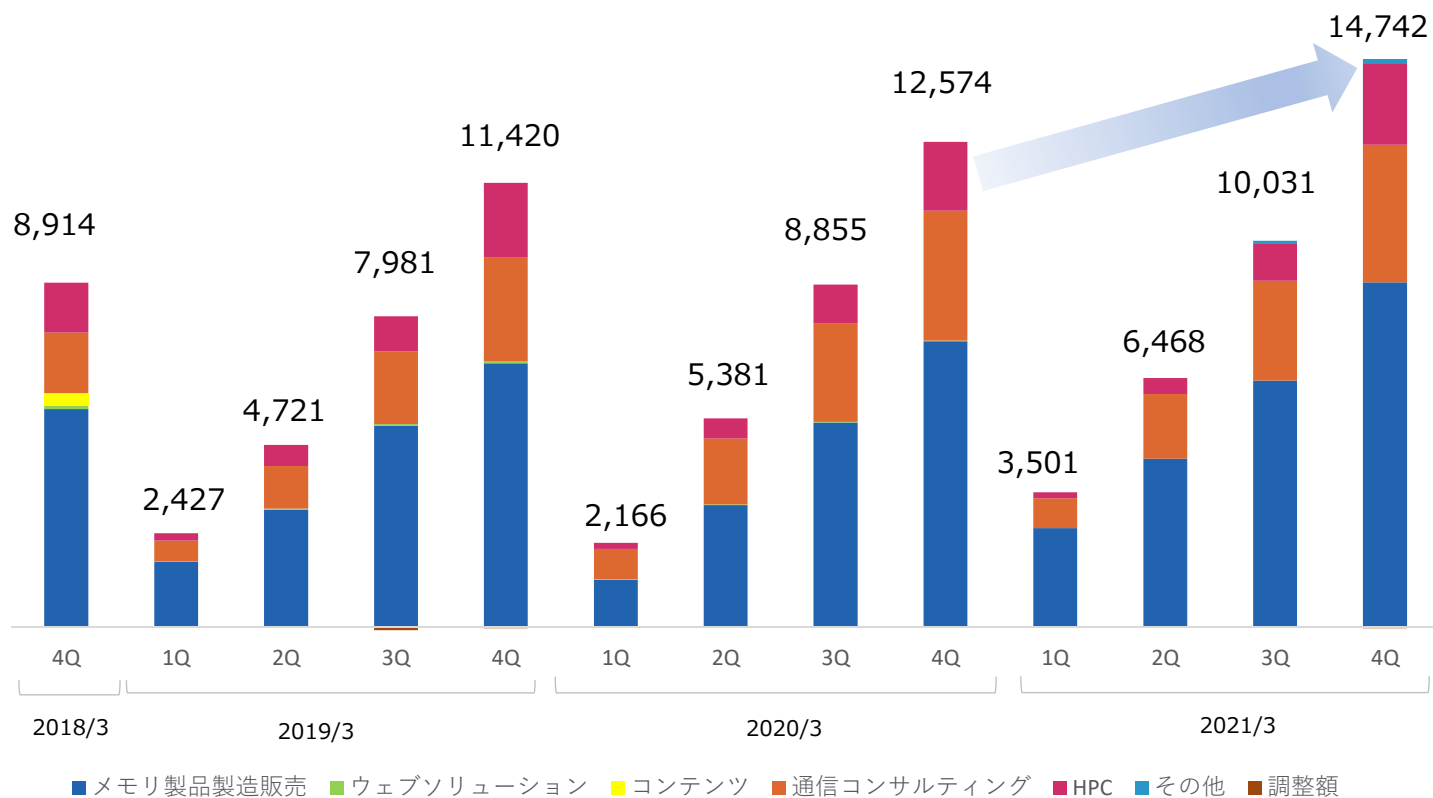
メモリ、HPCの増収幅大きく、前期4Q比大幅増収



※ 調整額はセグメント間の内部売上高または振替高

連結売上高 累計期間

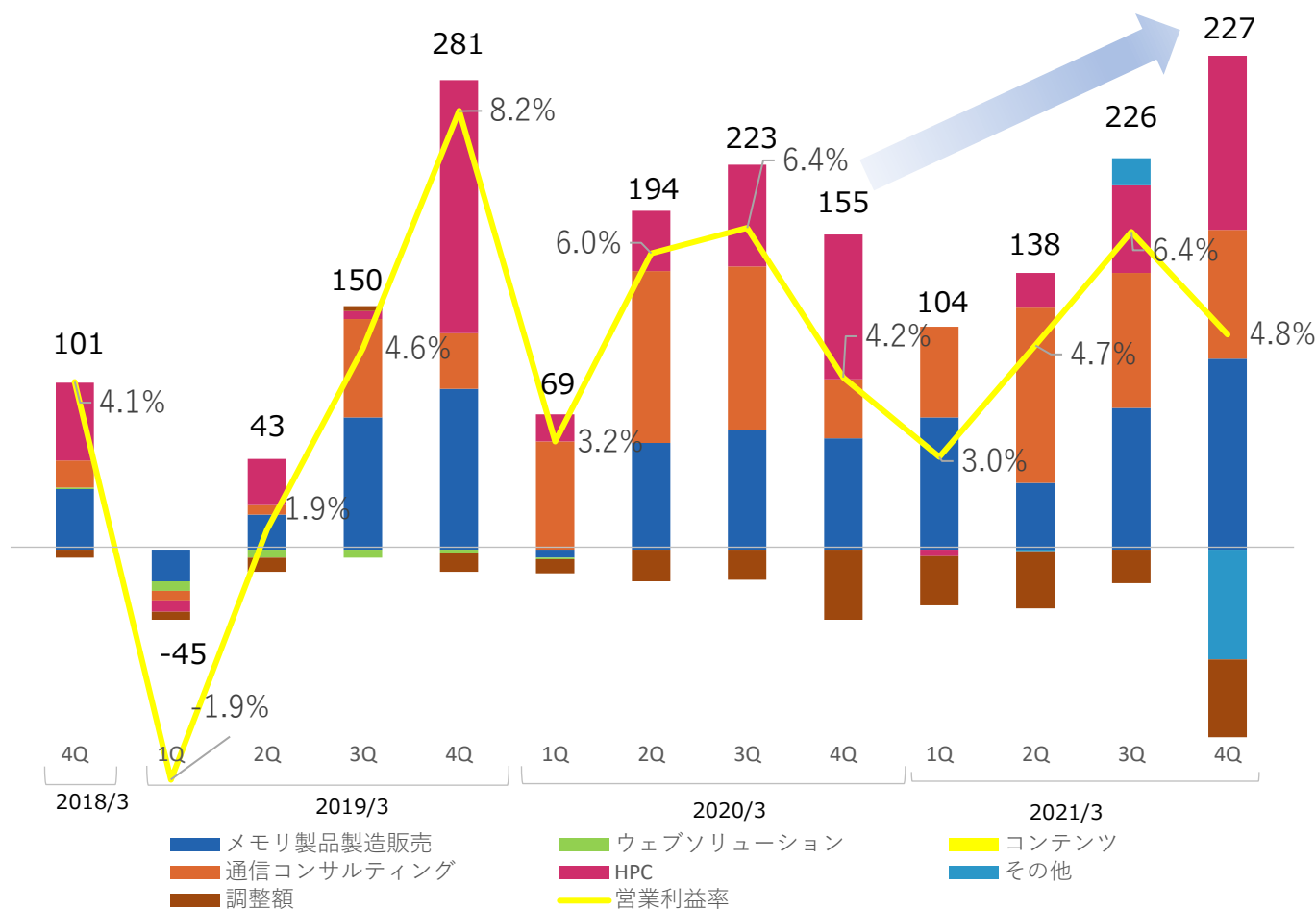
セグメントのばらつきを吸収、累計では全てのQで増収



※ 調整額はセグメント間の内部売上高または振替高

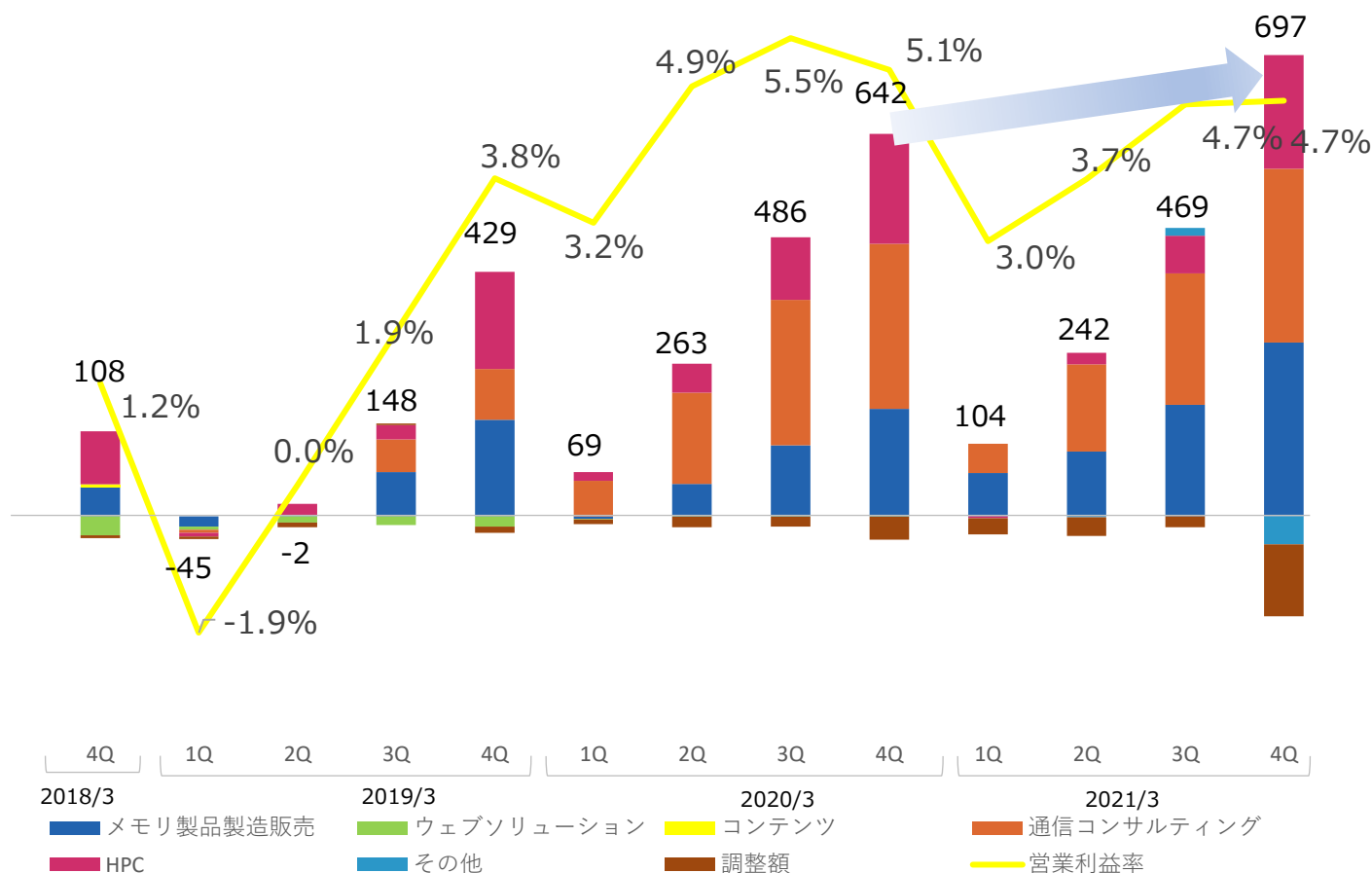
連結営業利益 会計期間

全報告セグメント大幅増益で前期4Q比も大幅増益



連結営業利益 累計期間

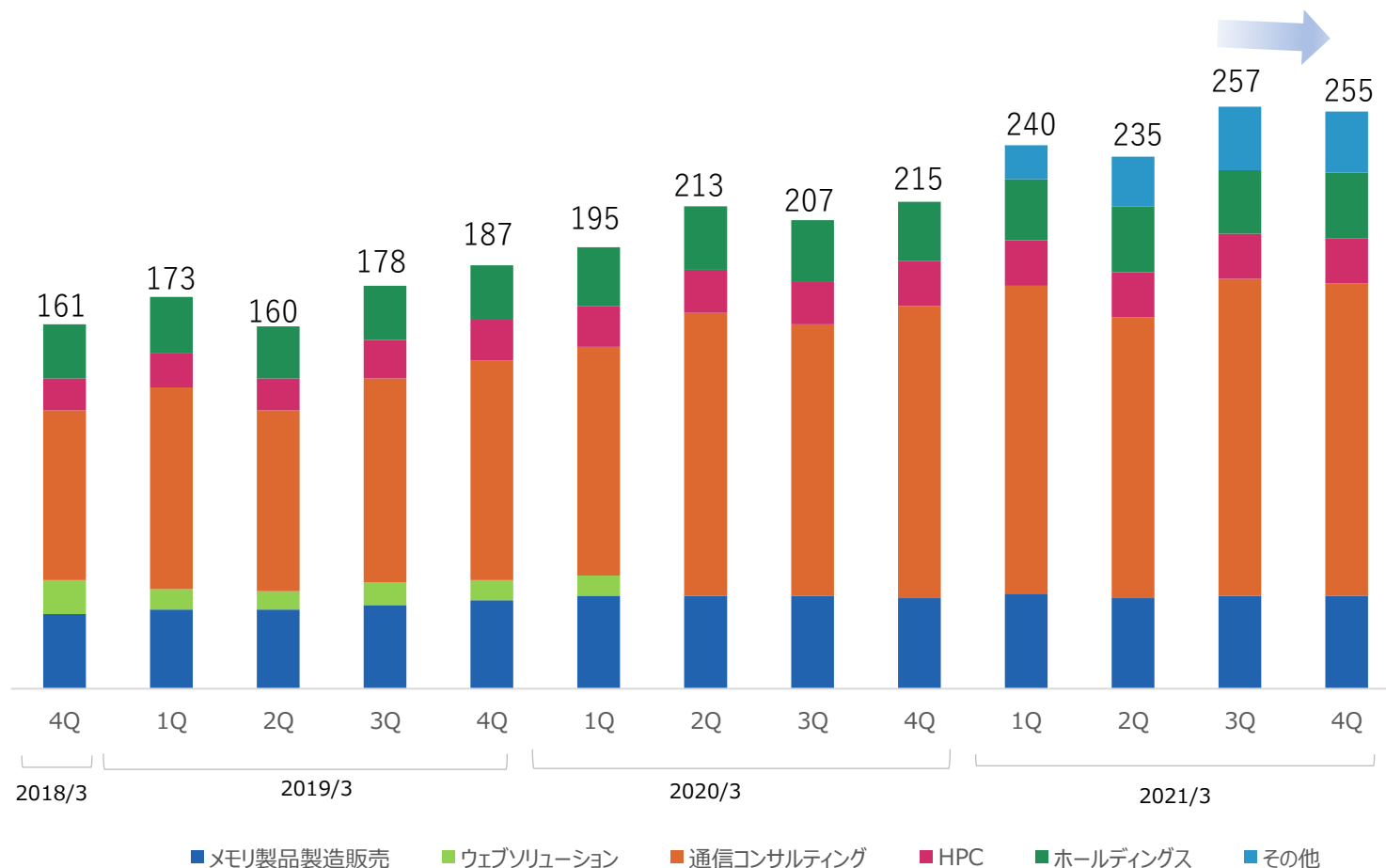
4Q業績大幅伸長で一気に回復、累計で大幅増益



※ 調整額はセグメント間の内部売上高または振替高

役職員数

前期比大幅増加、事業拡大で今後も増加傾向続く

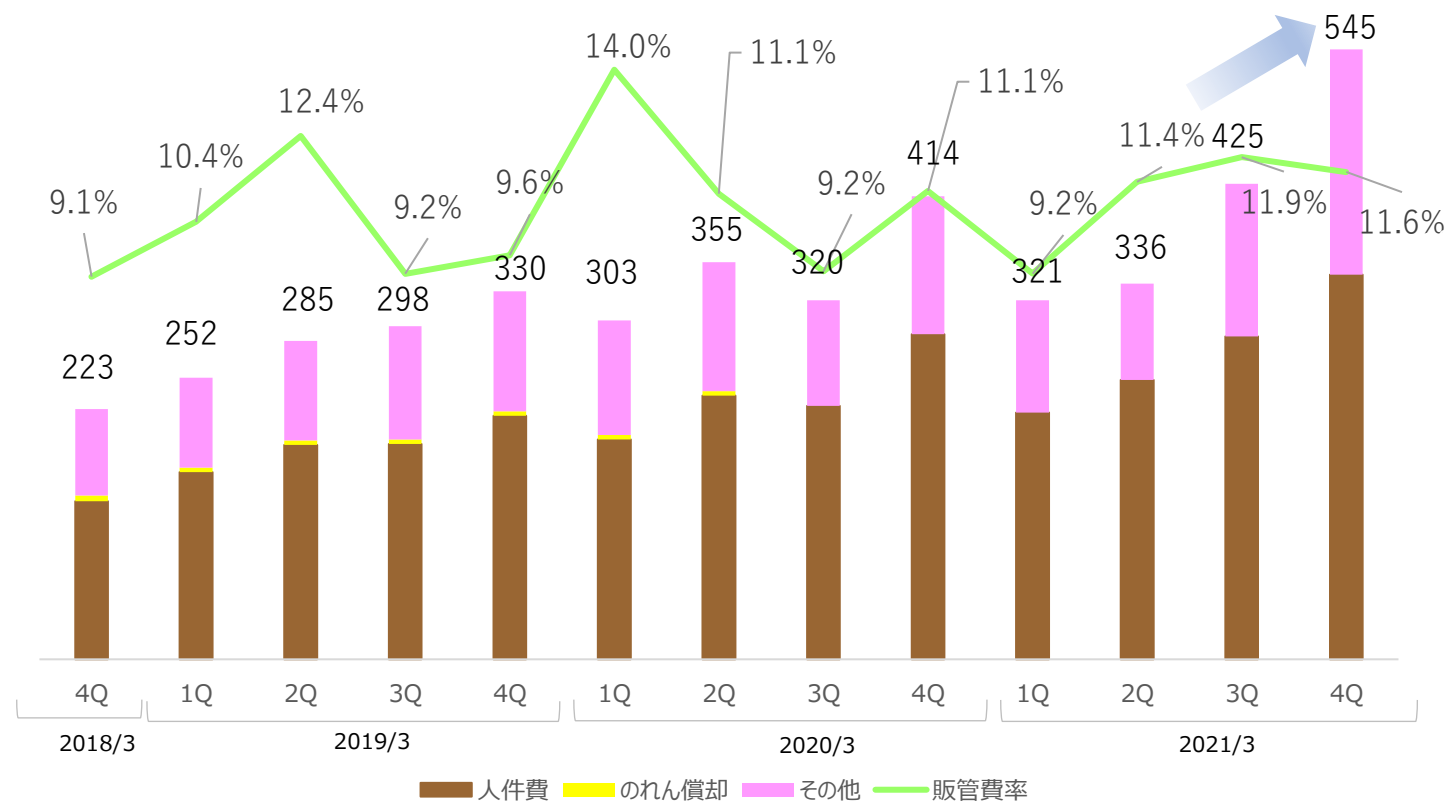


※ 各年度末実績、役職員 = 役員、正社員、契約社員、アルバイト

3.2021年3月期第4四半期業績

販売費及び一般管理費 会計期間

引当金計上、新規事業開業費償却等により一時的に増加



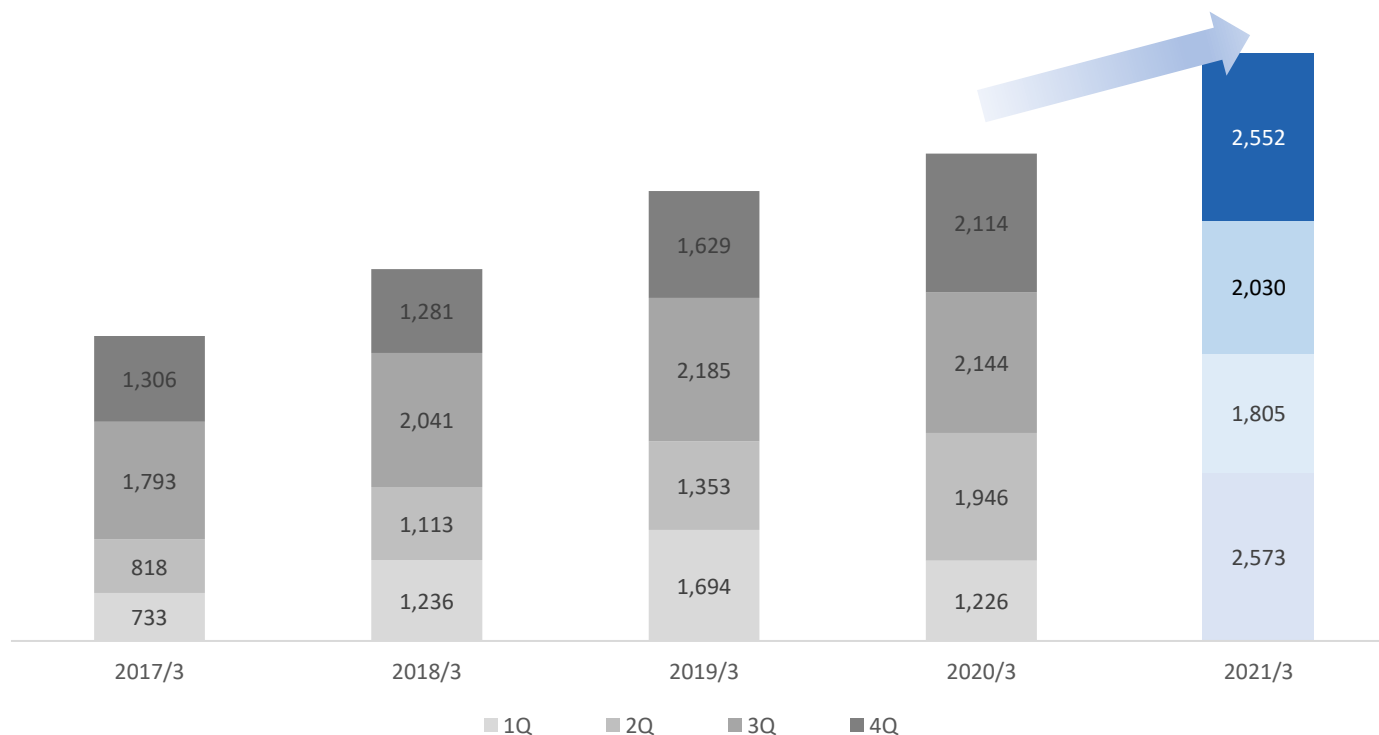
※ 人件費＝給与、役員報酬、賞与、退職金、通勤交通費、法定福利費、採用費、教育費、福利厚生費（引当金含む）

1. 2021年3月期通期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. 2021年3月期第4四半期業績
4. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
5. 総括
6. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

4.セグメント別概況 メモリ製品製造販売事業

売上高 累計期間

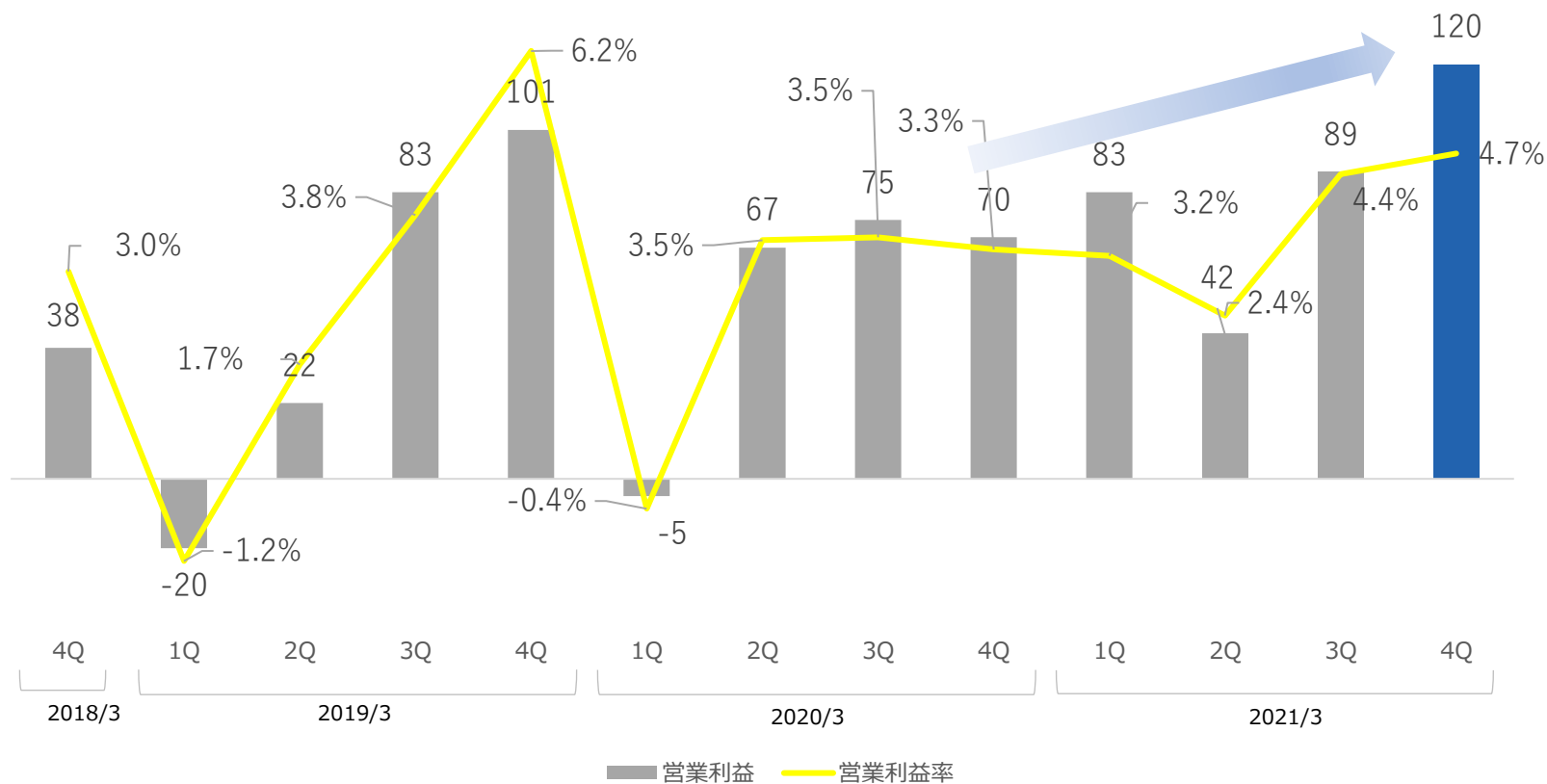
- ・ 1Qの記録的売上高の影響に加え4Qも大幅増収で、通期大幅増収
- ・ 半導体価格の高騰傾向継続を見据えた前倒し需要取り込み、4Q販売数増加
- ・ IoT事業量産案件安定し、堅調に推移、収益貢献
- ・ IoT事業量産案件、自社製品、Toradex®社製品の提案進め増加傾向、増収図る



4.セグメント別概況 メモリ製品製造販売事業

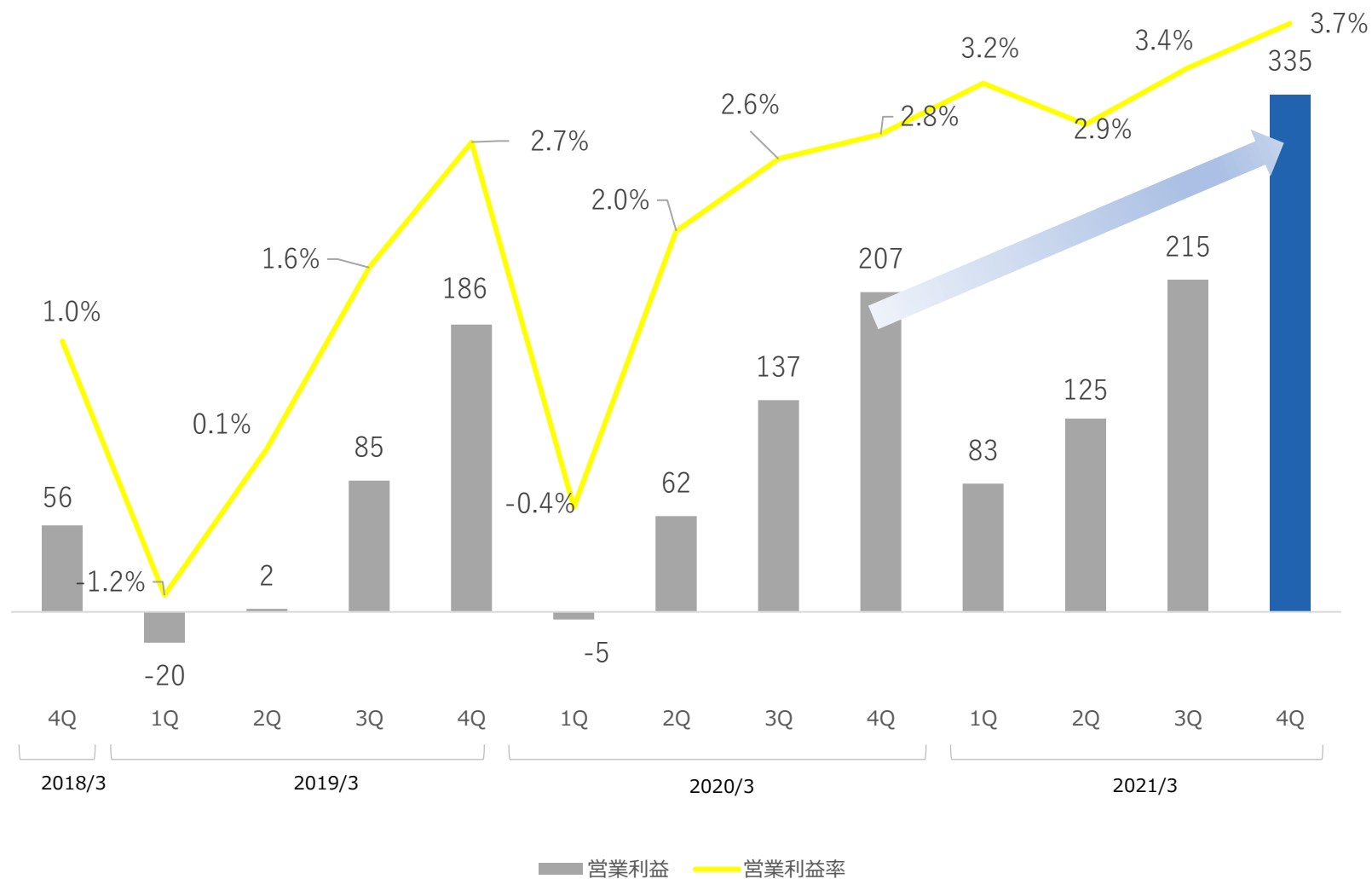
営業利益 会計期間

- ・半導体価格の変動にあわせた戦略的な販売価格の設定で利益確保
- ・対予算ベースで販管費抑制続く
- ・IoT事業の量産案件規模増大、コストダウンとあわせ利益貢献
- ・新製品の開発、量産化や、既存事業と組み合わせた新ビジネスモデルで利益増加図る



4.セグメント別概況 メモリ製品製造販売事業

営業利益 累計期間



ニューストピックス

新製品の開発、量産化で利益増加図る

2021年5月7日 [新製品]
組み込み用途/産業用途SSD 3種

産業機器向けに特化した製品を開発、発表。
2021年6月下旬販売開始。



2021年5月12日 [取り扱い開始]
ASRock Industrial 製品 取扱開始

クリティカルな要件を必要とする、産業用製品のソリューションベンダーであるASRock Industrialの製品取り扱いを開始。
協業によりIPCソリューションを提供。



Industrial & Embedded Motherboard



Industrial Computer System



AI Edge Computer



Network Appliance

2021年5月14日 [新製品]
バッテリーセンシングIoT

バッテリーの寿命を遠隔で監視出来るシステム。
各種通信方式（NB-IoT、LTE、Cat.M1、LPWA等）に対応し、クラウド上で常時監視が可能なバッテリーセンサーをオリジナル開発。



2021年7月 [新製品]
ニューラルプロセッシングユニット搭載 Verdin iMX8M Plus

Tradex®の正規代理店として、CPUモジュールとキャリアボードの代理店販売を実施。
アプリ開発を早期に取り組めるAI開発キットの販売を開始予定。



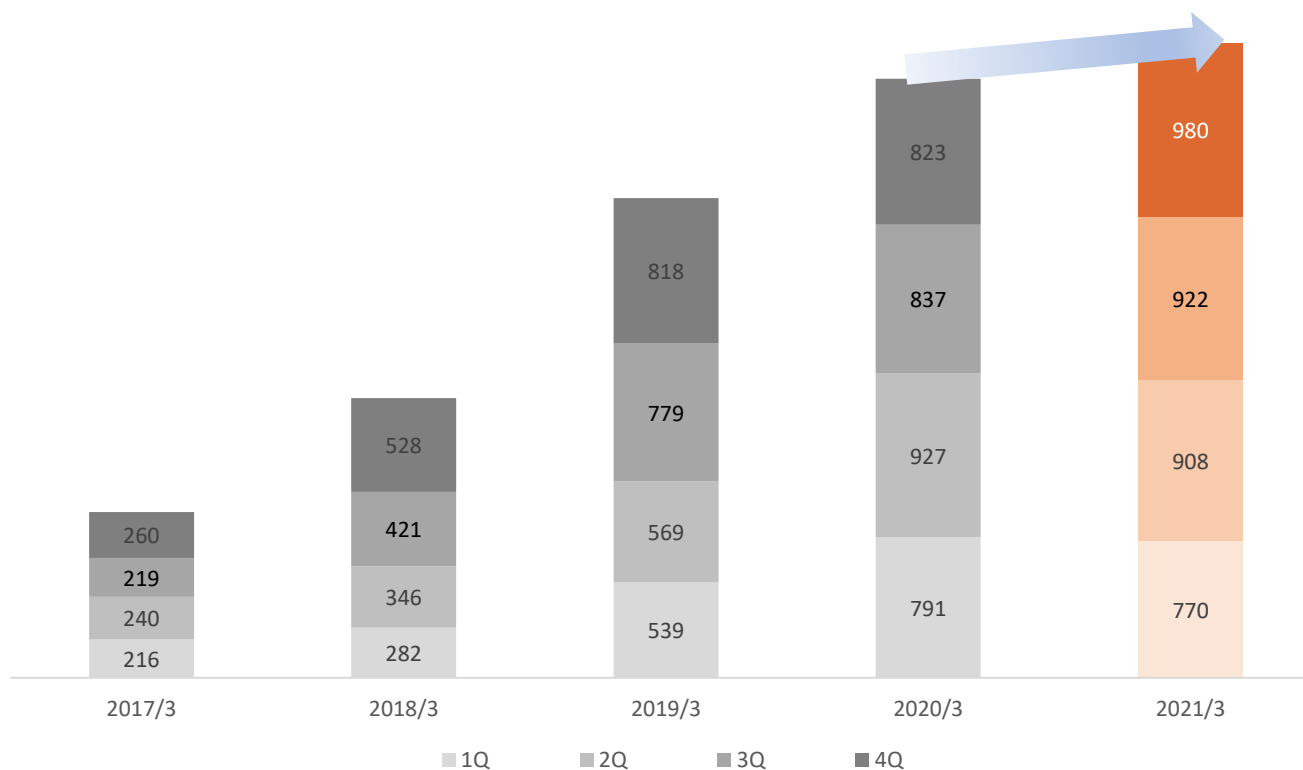
※ 第4四半期累計期間終了後、2021年5月14日までに発表した情報を含む

1. 2021年3月期通期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. 2021年3月期第4四半期業績
4. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
5. 総括
6. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

4.セグメント別概況 通信コンサルティング事業

売上高 累計期間

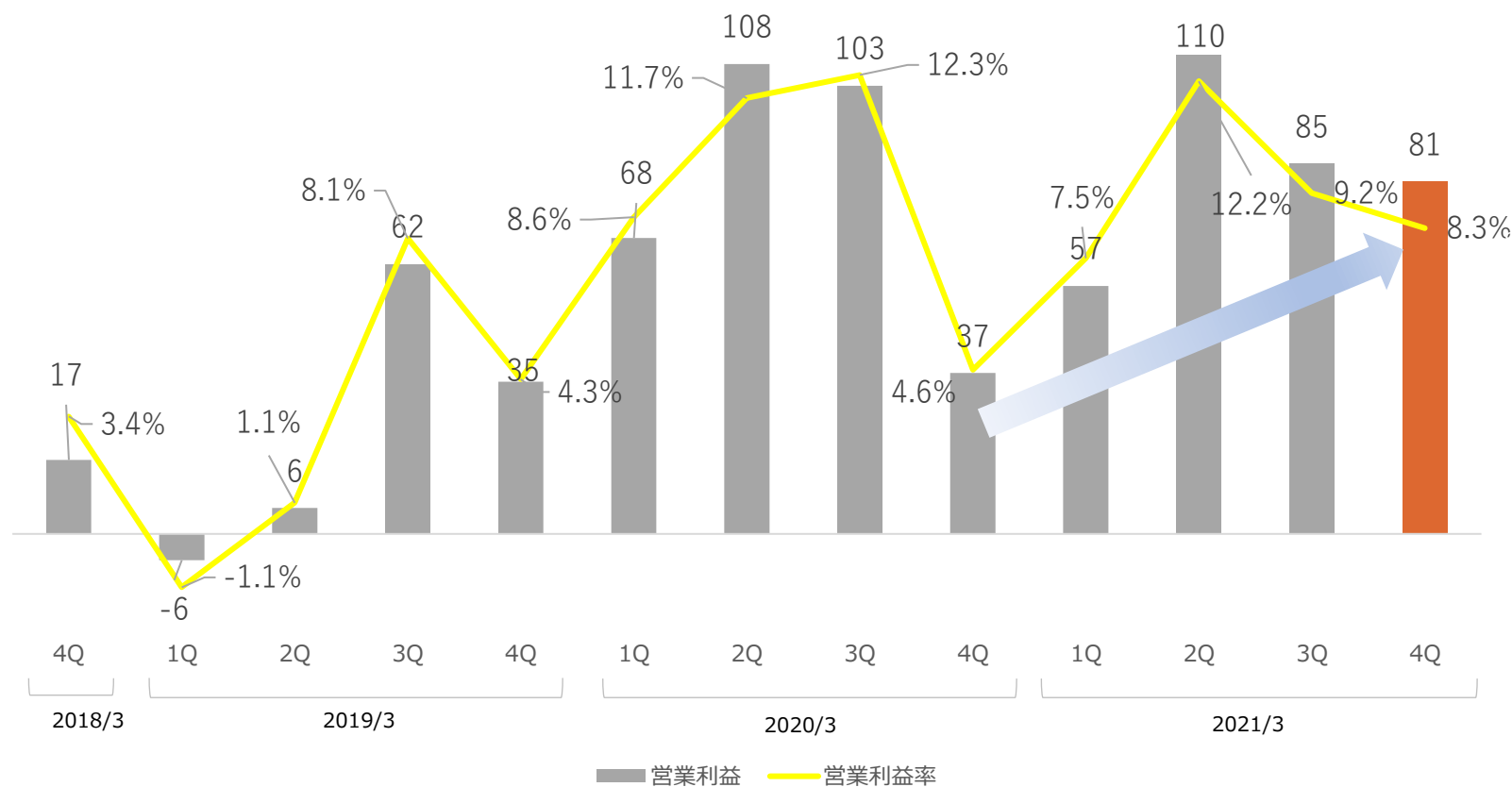
- ・通信建設工事事業において、屋内電波対策及びギガスクール関連工事等増加で下期大幅増加
- ・コンタクトセンター事業、大型コールセンター案件受託が売上に貢献
- ・『ポリマテリアル®充填』工事事業の本格稼働、5G基地局建設需要で増収図る
- ・バディネットのiconic Storageとトランセンエンジニアリングの吸収合併でシナジー追求



4.セグメント別概況 通信コンサルティング事業

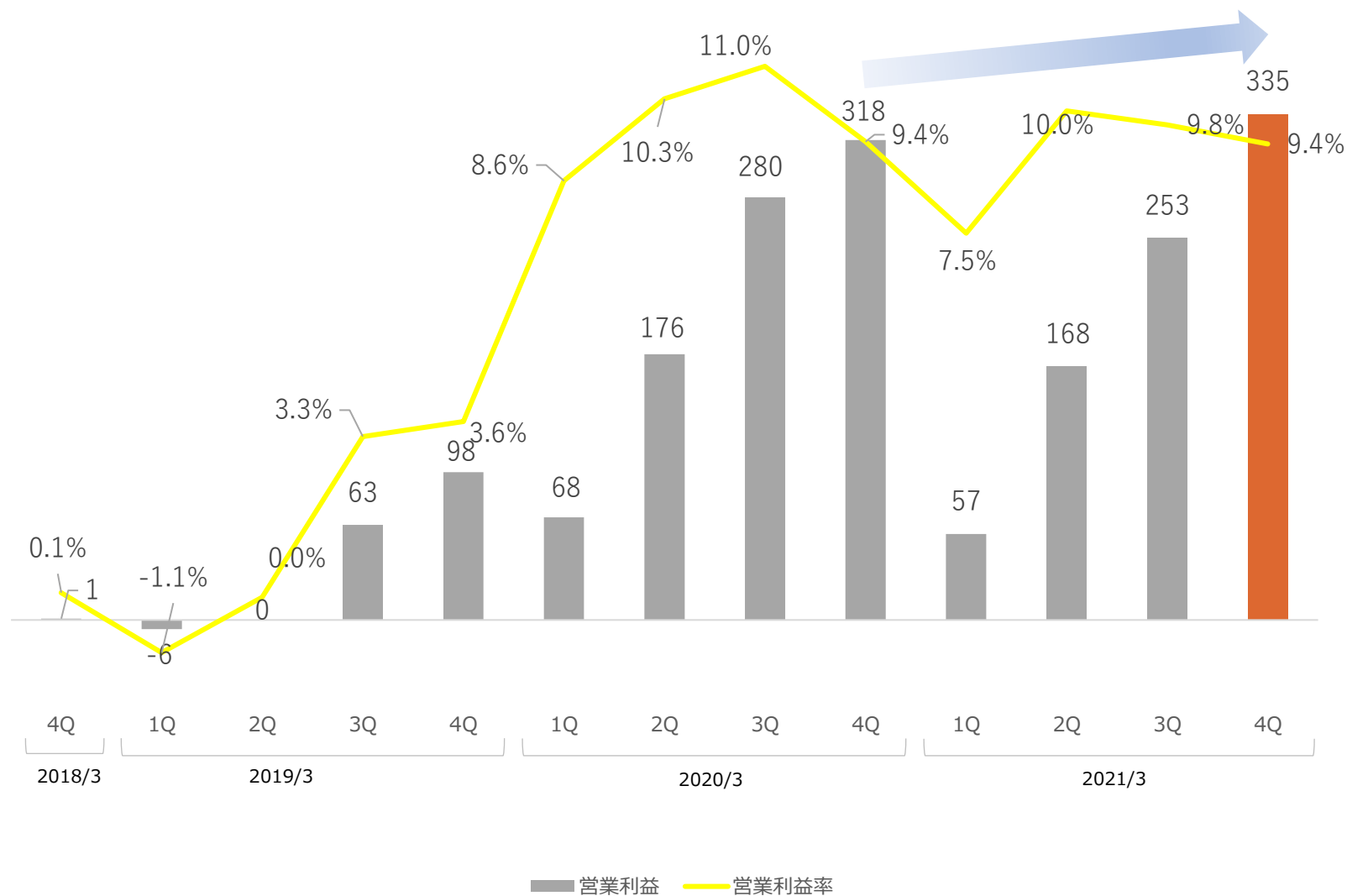
営業利益 会計期間

- ・ 通信建設工事事業、利益率の高い案件の拡大
- ・ 工事班の効率的な運用で利益率向上
- ・ コロナ禍での投資コントロールにより対予算ベースで販管費抑制
- ・ バディネットのiconic Storageとトランセンエンジニアリングの吸収合併でシナジー追求



4.セグメント別概況 通信コンサルティング事業

営業利益 累計期間



ニューストピックス

IoT、5Gインフラの需要増で、新事業も積極強化

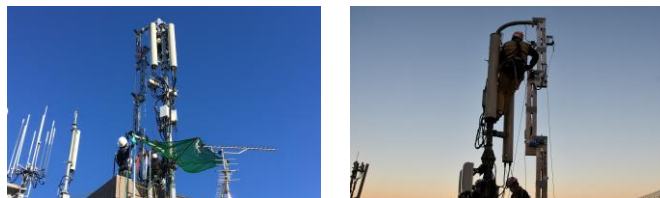
2021年1月22日 [新サービス]

ポリマテリアル®充填工法、ソフトバンク社との工事は進捗、新たな取り組みも協議開始

空洞部を有する支柱の強度を高める画期的な技術ポリマテリアル®充填工法を採用頂いたソフトバンク社の工事は進捗、堅調。

その他、自治体、他通信事業者とも協議を開始。

■ポリマテリアル®充填施工の様子



2021年5月

ローカル5G関連事業を開始

既存IoT/5G事業に加えて、大手通信事業者のローカル5Gサービスの立ち上げに参画。

2021年下期～

キャリア3Gサービス終了に伴う屋内携帯基地局の撤去・5Gへのリプレイス工事が本格スタート

2024年1月にサービス終了がアナウンスされている3Gサービスの終了に伴い、全国数万箇所の屋内携帯基地局の撤去及び、5G基地局への置き換え工事がスタート。2023年度を目途に業務を開始予定。

2021年2月12日

本店移転、増床、新東京コールセンター開設

業容拡大、人員確保のため、本店所在地の移転を決定。採用強化（2021年6月5日移転）

併せて、コンタクトセンター事業拡大に伴い、東京都中央区築地に80ブースのコールセンターを増席開設。（2021年7月開設予定）



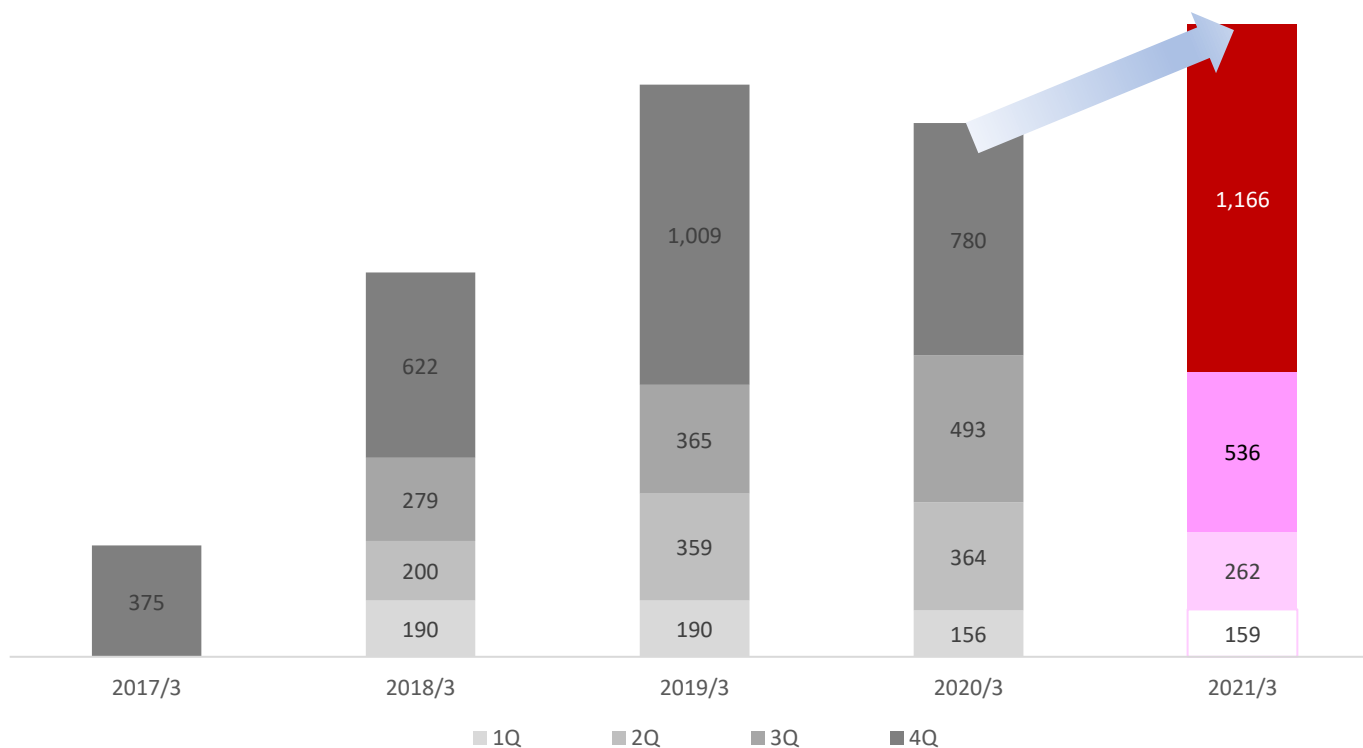
※ 第4四半期累計期間終了後、2021年5月14日までに発表した情報を含む

1. 2021年3月期通期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. 2021年3月期第4四半期業績
4. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
5. 総括
6. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

4.セグメント別概況 HPC事業

売上高 累計期間

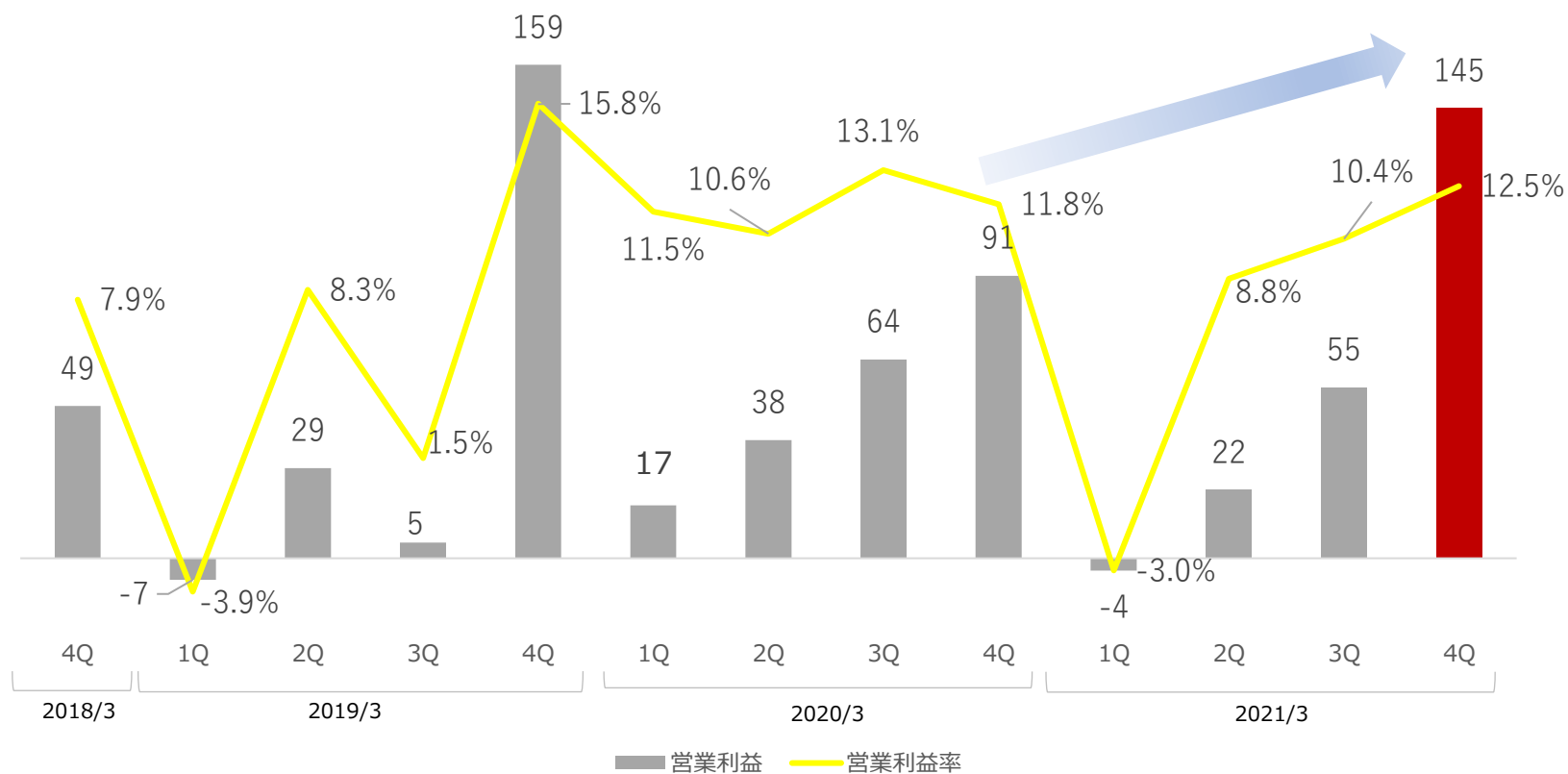
- ・ 営業機会の減少が続く中、社員のスキルアップ、顧客への情報発信に注力して案件獲得
- ・ NVIDIA新製品搭載品の早期製品化に成功、競合との差別化図る
- ・ 在庫を活用して納期遅延、製造の混乱を回避し、販売活動を安定化
- ・ 納品タイミングを活用した新たな営業手法で営業機会を確保



4.セグメント別概況 HPC事業

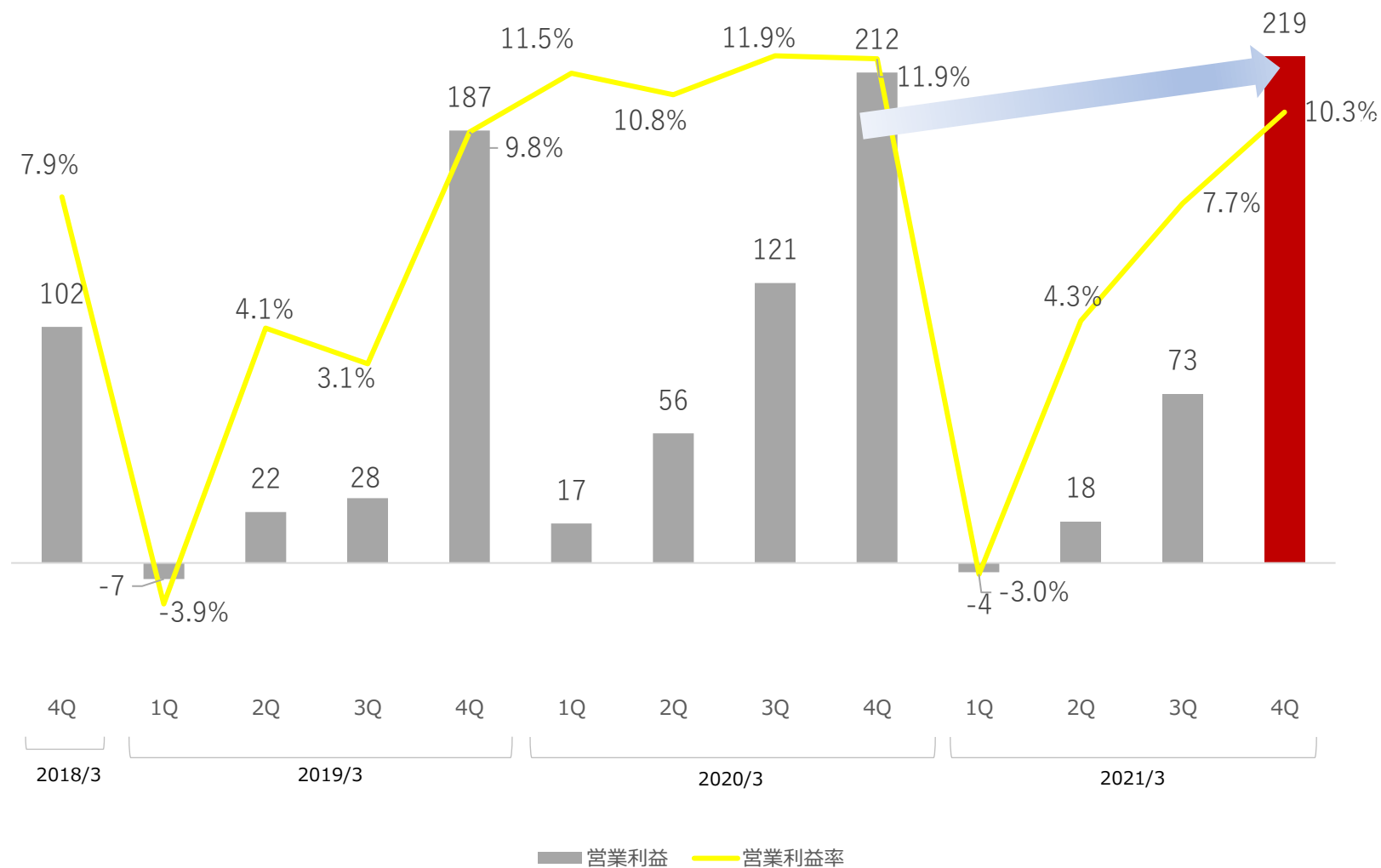
営業利益 会計期間

- ・コロナ禍による上期受注低迷の反動で4Qで大幅増加
- ・対面営業機会の減少続く中、案件数確保に注力で総額は増加
- ・売上高増加も、競合情報入手困難もあり、通期では利益率微減
- ・引き続き電子的手法含め営業機会確保進め、売上高の維持向上で利益確保図る



4.セグメント別概況 HPC事業

営業利益 累計期間



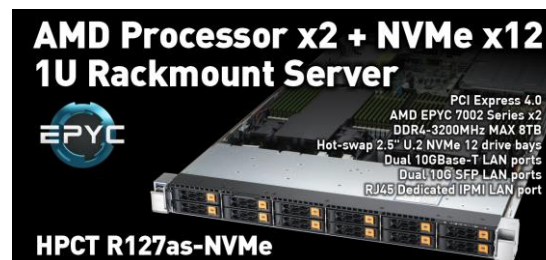
ニューストピックス

新製品のラインナップ拡大、強化

2021年1月28日 [取り扱い開始]
XILINX ALVEO シリーズ



2021年3月9日 [新製品]
オールフラッシュ
ストレージサーバ HPCT R127as-NVMe



2021年2月24日 [新製品]
NVIDIA A100-SXM4 8基搭載
ラックマウントサーバ



2021年3月31日 [新製品]
AMD Ryzen Threadripper PRO搭載
4GPUワークステーション



※ 第4四半期累計期間終了後、2021年5月14日までに発表した情報を含む

1. 2021年3月期通期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. 2021年3月期第4四半期業績
4. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
5. 総括
6. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

4.セグメント別概況 その他事業

売上高 累計期間

- ・ GoToキャンペーン、リピート顧客の再来館により、3Qは予算を大幅に上回る
- ・ GoToキャンペーンの停止、緊急事態宣言の影響で、4Qは予算を大幅に下回る
- ・ 広告、販促強化で認知度、集客力の向上図る
- ・ 新サービス、業態の開発で規模拡大図る

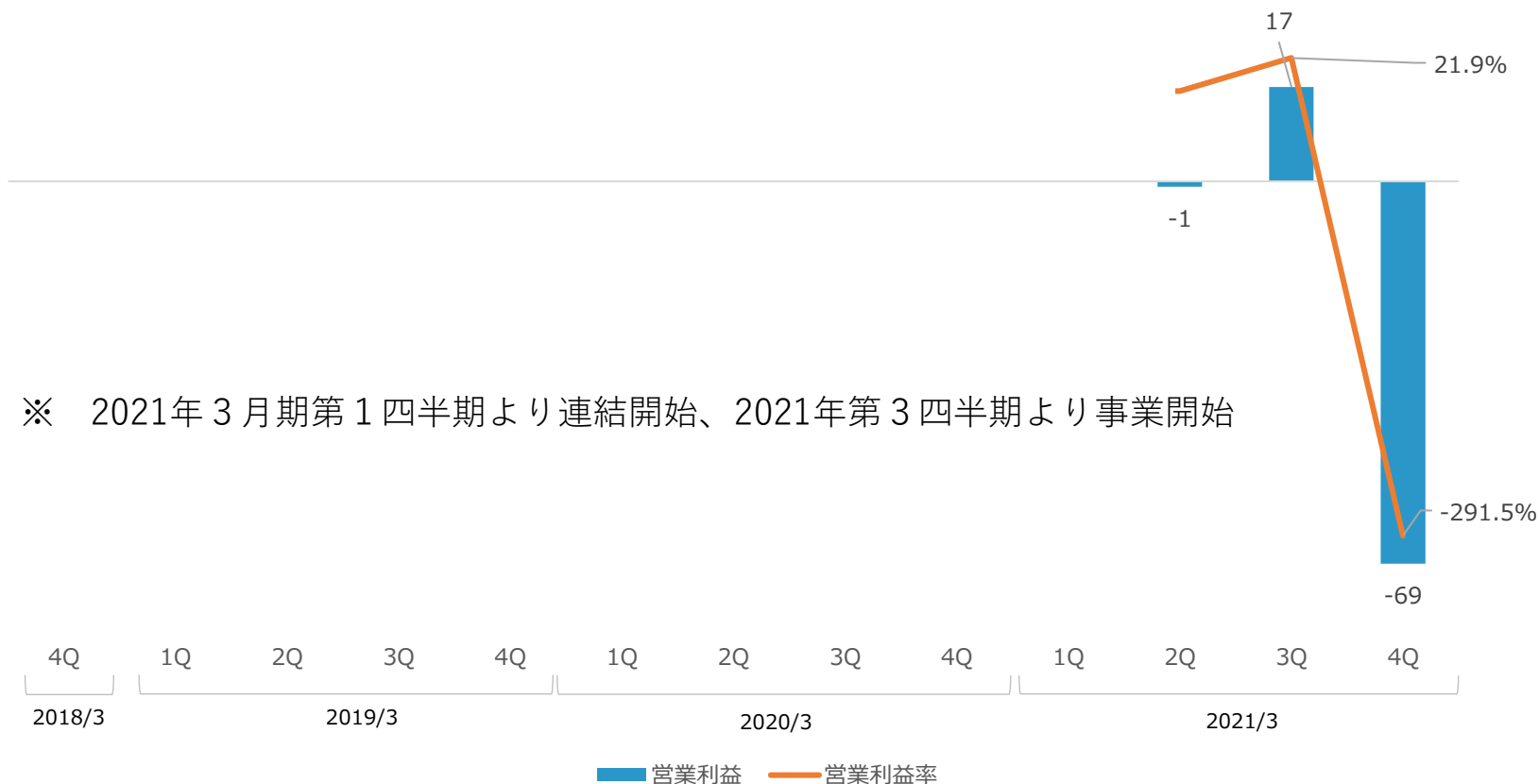
※ 2021年3月期第1四半期より連結開始、2021年第3四半期より事業開始



4.セグメント別概況 その他事業

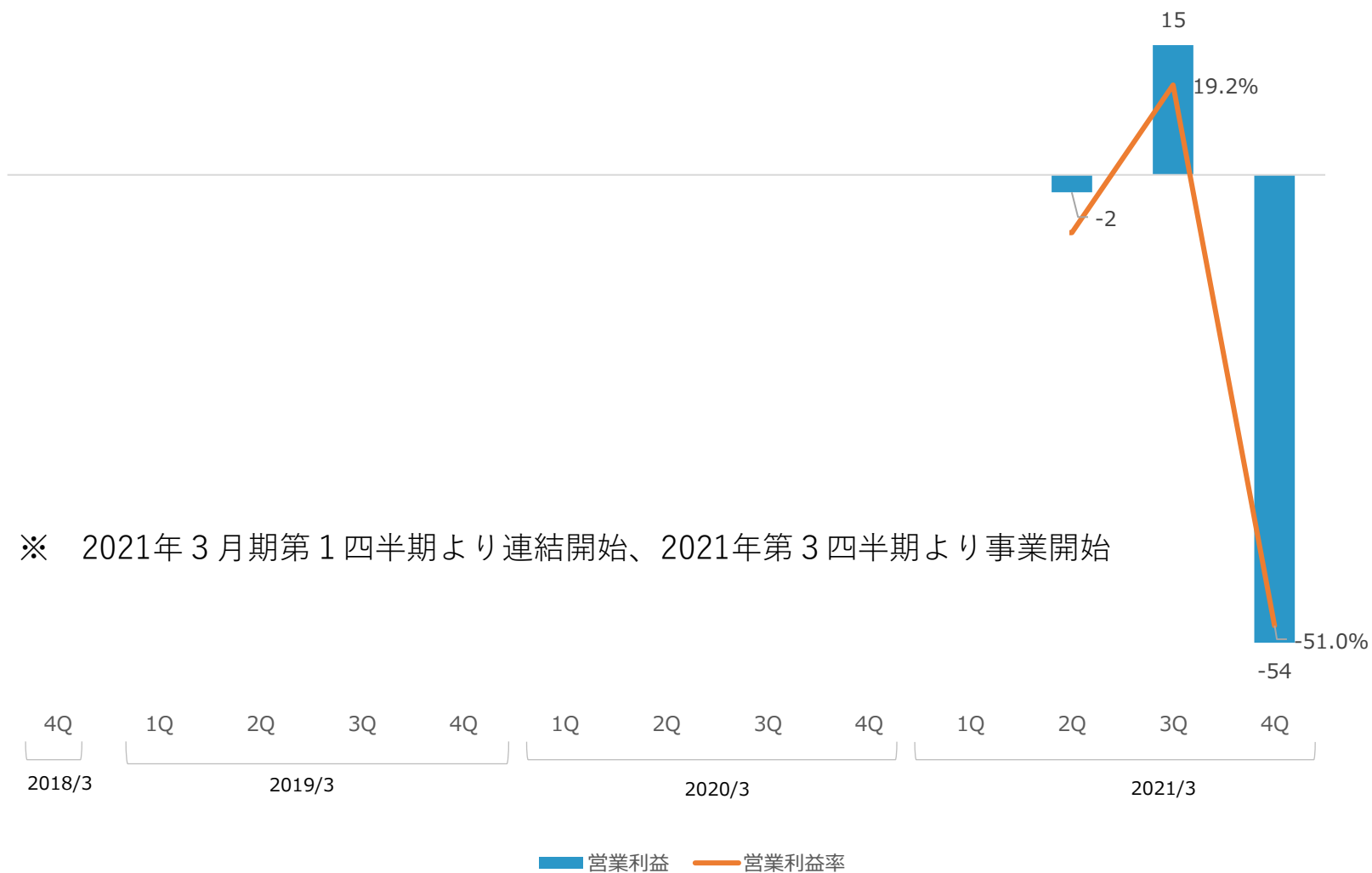
営業利益 会計期間

- ・ 4 Qにおける予約数の減少による固定費比率の上昇により大幅減少
- ・ 予約コントロール、休館日設定によるコストコントロールで損失拡大回避
- ・ 開業費用の償却による一時的な販管費増加により損失計上
- ・ 施設リニューアル、従業員教育に注力、高付加価値化による利益増大図る



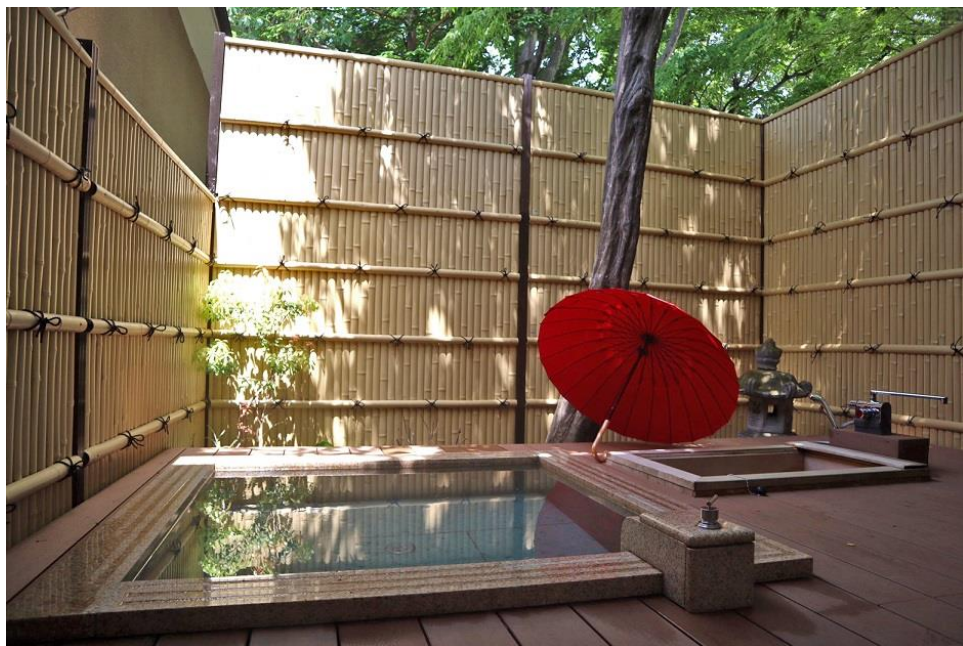
4.セグメント別概況 その他事業

営業利益 累計期間



ニューストピックス

コロナ禍も営業は継続 季節毎の特別プラン開始



改装工事が完了しリニューアルした特別室『瑠璃』
庭園への眺めやアプローチも良く、以前よりも一層快適に

季節に応じた特別プランの予約開始

2021年4月 桜プラン

2021年5月 新緑プラン

2021年6月 紫陽花プラン

館内の季節装飾のほか、限定食事メニューも提供。

特別室『瑠璃』の改装工事完了

バルコニーデッキや客室露天風呂を
リニューアルしてオープン。
愛犬用露天風呂も完備。

※ 第4四半期累計期間終了後、2021年5月14日までに発表した情報を含む

1. 2021年3月期通期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. 2021年3月期第4四半期業績
4. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
5. 総括
6. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

総括

当期は、新型コロナウイルスの感染拡大により厳しい経済環境が続き、4Qにおいても、二度目の緊急事態宣言の発出により不透明感の続く事業環境となりました。当社においては、コロナ禍における様々な制限の中、市場ニーズを的確に捉え、1Qにおいてメモリを大幅に伸長させ、2Qにおいてはメモリの反動等による足踏みがあったものの、3Q以降回復基調となり、4Qにおいては、全報告セグメントにおいて増収増益を達成、結果として、通期においても、全報告セグメントで増収増益、業績予想の達成となりました。来期においては、法人向けメモリの回復、IoT事業の順調な推移、バディネットの大幅な拡大、HPCの堅調な推移、旅館事業の平常化を見込み、5期連続の増収営業増益を目指しております。引き続き、成長分野への投資拡大及び新規事業開発の強化を推進し、株主価値の向上に努めてまいります。

	2020年3月期	2021年3月期	前期比	2022年3月期 予想	前期比
売上高	12,574	14,742	117.2%	15,000	101.7%
営業利益	642	697	108.6%	750	107.6%
経常利益	636	682	107.3%	750	109.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	654	345	52.8%	400	115.7%
一株当たり当期純利益	712.57円	376.52円	52.8%	435.49	115.7%

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報及び当該情報に基づく仮定に依拠しているため、リスクや不確実性を含んでいることから、実際の業績等は様々な要因により業績見通し等とは異なる可能性があり、当社がその実現を約束するものではありません。

1. 2021年3月期通期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. 2021年3月期第4四半期業績
4. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
5. 総括
6. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

<商号>

株式会社AKIBAホールディングス（旧株式会社アドテック）

<上場市場>

東証JASDAQ市場（スタンダード 証券コード：6840）

<設立>

1983年2月17日

<資本金>

7億円

<事業内容>

グループ会社の統括及び運営

<決算期>

3月末

<連結売上高>

147億円（2021年3月期）

<役職員数>

255名（連結 2021年3月末日）

<本社所在地>

〒104-0045

東京都中央区築地2-1-17 陽光築地ビル

Tel：03-3541-5068(代表) Fax：03-6260-6258

<拠点>

株式会社アドテック：町田R&Dセンター、大阪営業所

株式会社バディネット：大阪営業所、福岡営業所

和歌山コンタクトセンター

株式会社ダイヤモンドペット&リゾート：鬼怒川絆

<役員>

代表取締役社長	馬場 正身
取締役 管理本部長 CFO	五十嵐 英
取締役 管理本部副本部長	富山 理布
取締役 グループ監査室長	後藤 憲保
取締役（社外）	丸山 一郎
取締役（社外）	黒部 得善
取締役（社外）	後藤田 翔
常勤監査役	石本 圭司
監査役（社外）	西田 史朗
監査役（社外）	中川 英之
補欠監査役（社外）	藤浪 努

<会計監査人>

KDA監査法人

<株主名簿管理人>

三井住友信託銀行株式会社

<顧問弁護士>

原 大二郎（ライジング法律事務所）

谷口 明史（北浜法律事務所）

1983年（昭和58年）	2月	株式会社アドテックを設立
1993年（平成5年）	6月	パソコン用増設メモリモジュールの製造販売を開始
1997年（平成9年）	10月	株式額面変更のため株式会社エフ・ケー・インターナショナルと合併
1998年（平成10年）	11月	日本証券業協会に株式を店頭登録
2004年（平成16年）	12月	ジャスダック証券取引所（現 東京証券取引所JASDAQ（スタンダード））に株式を上場
2013年（平成25年）	5月	株式会社エッジクルー（現 連結子会社）を設立
同年	7月	大阪証券取引所と東京証券取引所の現物市場の統合に伴い、東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に株式を上場
2013年（平成25年）	12月	株式会社チームエンタテインメントを買収
2015年（平成27年）	1月	株式会社バディネット（現 連結子会社）を買収、バディネットの完全子会社である株式会社モバイル・プランニングもグループに加わる
同年	10月	株式会社AKIBAホールディングスに商号変更、新設分割により株式会社アドテック（現 連結子会社）を設立、純粋持株会社体制に移行
同年	12月	株式会社AKIBA LABO福岡を設立。福岡県飯塚市においてソフトウェア開発拠点を設置
2016年（平成28年）	3月	iconic Storage株式会社を買収
2017年（平成29年）	1月	株式会社HPCテック（現 連結子会社）を買収
2018年（平成30年）	2月	株式会社チームエンタテインメント株式を売却
2018年（平成30年）	11月	子会社の現物配当により株式会社モバイル・プランニングを直接保有の完全子会社化
2019年（令和元年）	7月	ウェブソリューション事業を株式会社バディネットに移管、通信コンサルティング事業に統合
同年	7月	ミナトホールディングス株式会社と業務提携開始
同年	9月	株式会社モバイル・プランニング株式を売却
2020年（令和2年）	5月	株式会社ダイヤモンドベッツ&リゾート（旧 株式会社AKIBA LABO福岡）にて新規事業（ペット同伴温泉旅館「鬼怒川 絆」の運営）開始
同年	10月	ペット同伴温泉旅館「鬼怒川 絆」グランドオープン
同年	10月	株式会社バディネットが株式会社トランテンエンジニアリングを買収
2021年（令和3年）	4月	株式会社バディネットがiconic Storage株式会社と株式会社トランテンエンジニアリングを吸収合併



グループ企業一覧



株式会社AKIBAホールディングス

【純粋持株会社】
グループ会社の統括及び運営

メモリ製品製造販売事業

株式会社アドテック



メモリ製品の製造・販売
パソコン周辺機器等の販売
IoTソリューション事業

通信コンサルティング事業

株式会社バディネット



エンジニアリング事業
BPO事業
通信コンサルティング事業
人材派遣・人材紹介事業
システム開発・受託事業
コンタクトセンター事業

HPC事業

株式会社HPCテック



科学技術コンピュータの製造・販売

その他事業

株式会社ダイヤモンドペット&リゾート



旅館事業
ペット商品事業
IT事業
イベント事業
不動産事業

独自の技術開発力に基づいた高品質・高付加価値な製品を市場に提供し続けます。

代表取締役社長 下津 弘亨

IT技術の目覚ましい進歩が次の時代の大きな変革となっており、産業界においてもIT技術のさらなる活用と研究・開発、並びに無人化や省力化を実現する自動化技術が進んでいます。私たちアドテックが目指すのは、次の時代へと繋がるテクノロジーを応用した製品やサービスの開発です。これからもアドテックは、ハードウェア、ソフトウェア分野における各種ITソリューションの提供並びにメモリ関連製品の技術の向上を図ります。そしてIT時代の重要な架け橋になる企業となることを目指し、社会の発展に貢献してまいります。

事業内容

■ メモリ製品製造・販売事業

パソコン・サーバ用増設メモリ、SDカードや microSDカード、USB フラッシュメモリ、SSD、CFカード、CFastカード等を製造・販売を行います。産業用・工業用・組込用途に適した部品固定・長期安定供給の製品群も数多くラインナップしています。

Memory module

メモリモジュール

- ▶ パソコン適合検索サイトをご用意
パソコン・サーバへの対応可否も容易に検索可能
- ▶ 高品質かつ長期安定供給体制の産業用向け製品の多数の納入実績



Flash Memory

フラッシュメモリ

- ▶ 民生用向け製品では、データ復旧サービスが付属した安心保証（一部製品）
- ▶ 豊富なラインナップの産業用向け製品の多数の納入実績



■ IoTソリューション事業

自動運転やスマートメーター、自販機まで、意識せずにインターネットに繋がるIoTが、広い範囲で我々の生活を支えています。当事業部は、様々な規模のIoTシステムと共に、関連機器、マイコン機器等についても、開発、製造、販売まで取り扱っています。

IoT System

IoTシステム

- ▶ IoTシステムとモデム、通信モジュールを用いたIoT端末の開発
- ▶ 実績のある協力会社と共に様々な分野のIoTシステム開発に対応します。



Toradex®

トラデックスモジュール

- ▶ ARM系CPUモジュール
- ▶ Toradex® の代理店販売、キャリアボード開発及び開発サポートを行います。



拠点

▶ 大阪営業所

大阪市浪速区日本橋4-16-1
ユニットコム本社ビル3階

▶ R&Dセンター

東京都町田市小山ヶ丘2-2-5-8
まちだテクノパーク センタービル7、8階

取り組み

■ 最先端メモリからレガシーメモリまでの幅広いラインナップをサポート

DDR4メモリ、M.2 SSD等の最先端メモリから、産業用で長期需要があるDDR1メモリ、SDRAMメモリ、CFカード等のレガシーメモリ迄、幅広い製品ラインナップと製品サポートを継続展開していきます。

■ メモリメーカーの枠に捉われず、周辺機器メーカーとしての新しい取り組み

メモリ製品だけでなく、お客様のニーズにお応えする新しい周辺機器の製品開発を積極的に行っており、幅広いラインナップの展開、販売を行い、お客様のお役に立てる企業として、成長してまいります。

■ IoTシステム、端末 設計開発

- ▶ IoTシステムの構想、端末開発など、お手伝いします。
- ▶ LTEモデムからLoRaなどのLPWAモデムなど、多くの通信機器の実績があります。
- ▶ ハード/ソフト双方で相談ください。

■ OEM機器 受託開発/販売

- ▶ 民生/医用/車載等、様々な分野の受託開発に対応します。
- ▶ OEM機器の開発、量産、販売及び、サポートを行います。
- ▶ 構想検討から販売まで、実績のある協力会社と共に取組みます。

■ ARM系CPUモジュール販売

- ▶ NVIDIA、NXP製(ARM系)CPUモジュールToradex®の代理店販売
- ▶ Toradex®モジュールを拡張するキャリアボードのカスタム開発
- ▶ Toradex®モジュール及びキャリアボードの技術サポート

通建テック™で建設業務を圧倒的に低コスト化。 代表取締役社長 堀 礼一郎

IoT/5G時代に通信建設を変革していきます。

IoTの時代は、エアコンや冷蔵庫、椅子や電球など、目に見える全てのモノが通信に繋がる世界。それは、革新的な世界であるからこそ旧態依然のままでは対応できず、新しい考え方や手法が求められています。我々は、これまでビジネス・インテグレーターとして培ったノウハウと技術力にAKIBAホールディングスグループが誇るITの総合力を掛け合わせ、この課題を解決します。そして、より一層便利な社会を創り守っていくために、益々の企業規模拡大を目指していきます。

事業内容

エンジニアリング事業

高度化する企業のネットワーク・インフラ構築を確かな技術力でサポートします。

Mobile Engineering

モバイルエンジニアリング

移動体通信局構築工事
 屋内電波対策工事

Network Engineering

ネットワークエンジニアリング

WAN・LAN設計／工事
 公衆無線LAN構築工事
 電気・電話設備
 防犯カメラ設置工事

Field Support

フィールドサポート

全国保守サポート
 IT機器の設置・交換

コンタクトセンター事業

Contact Center Service

コンタクトセンターサービス

高品質、スピードをキーワードに掲げ、
 お客様のご要望に応じた最適なコンタクト
 センターソリューションを提供します。

カスタマーサポート、テクニカルサポート、
 アウトバウンドコール、コンサルティング、
 CRMソリューション

BPO事業

BPO Service

BPOサービス

お客様の課題を業務設計から
 業務の効果分析、改善案実
 行による業務効率化まで一括
 して支援します。

スキーム構築 マーケティング
 営業支援 サポートデスク
 施工・設置 設計・開発支援
 保守・メンテナンス バックオフィス 等

人材派遣・

人材紹介事業

Buddy Staffing

バディスタッフィング

企業活動に必要な様々な
 分野の人材を紹介します。
 SE・NWエンジニア
 オフィスワーク
 セールス・プロモーション
 コールセンター

通信コンサルティング事業

Mobile Consulting

モバイルコンサルティング

全国600名の経験豊富なセールスチームと実
 績のあるコールセンターが貴社の売り上げ拡大
 をサポートします。

新規訪問営業 契約・収納
 ルート営業 カスタマーサポート
 インバウンドサービス
 アウトバウンドサービス

システム開発・受託事業

System Engineering

システムエンジニアリング

情報通信機器を中心にハード機器・ソフトウェアの設
 計開発をサポートします。

各種ソフトウェア開発（受託・SES）
 ネットワーク構築
 IoT研究開発
 エンジニアリングサービス
 コンサルティング

拠点

■ 営業所

【新宿営業所】新宿区新宿6-5-1 新宿アイランドタワー6F
 【大阪営業所】大阪市浪速区日本橋4-16-1 ユニットコム本社ビル3F
 【福岡営業所】福岡市博多区博多駅中央街5-11第13泰平ビル3F

■ コンタクトセンター

【東京CS】中央区築地
 【和歌山CS】和歌山市本町
 【福岡CS】福岡市博多区博多駅中央街

取得認可

▶ 労働者派遣事業

許可番号：派13-306504
 許可年月日：2016年6月1日

▶ 職業紹介事業

許可番号：13-コ-308341
 許可年月日：2016年12月21日

▶ 建設業許可

許可番号：東京都知事 14501
 許可年月日：2013年8月30日

取り組み

安全品質管理体制

当社は、作業所の安全確保と安全な職場環境を形成することで、労働災害発生を未然に防ぎ安全で
 かつ安心な品質を確保します。

- ▶ 安全パトロールの実施
- ▶ 安全衛生協議会の実施
- ▶ 施工安全計画書の策定
- ▶ 事故事例検討会の実施
- ▶ 情報セキュリティ事務局の設置

個人情報保護

当社は、社会の通信インフラに関わる業務並びに人材サービス(労働者派遣等)に
 関わる業務に携わっております。これら業務を行うに当たり、個人情報保護という社
 会的責任を認識しプライバシーの保護、個人情報に関する法規制等を遵守し、事
 業活動を行うためにプライバシーマークを取得し、業務を実行しています。

国際的な競争力の強化と人々が自己実現できる 豊かな社会を目指し最善の努力をつくします。

代表取締役 奥山 義弘

21世紀に入り日本を取り巻く国際情勢は目まぐるしく、大きな変動の中で産業界や大学・研究機関の役割・今後の進むべき道も大きく変わろうとしています。企業間の国際競争もそして同じ業界内での連携や競争または異業種との交流もその激しさとスピードを一層増してきています。その中において新たな技術やサービスの開発の基となる科学技術コンピュータ（HPC）やIT技術は国家や企業のよりよい未来を創造する事でしょう。

我々はこの激動する社会・経済の変化の中で、世界的に繋がったインターネットのように人と人との繋がりを大事にして、新しい世代を担う大学・研究機関・企業の方々の発展と地球環境の保全に貢献したいと心から願う次第です。

事業内容

科学技術コンピュータ製造・販売事業

高度な科学技術計算機を必要とする大学、研究機関、企業の研究開発部門向けに、科学技術計算分野向けコンピューターの製造、販売を行っております。天気予報、地震予測、自動運転、電子機器や新素材の開発などに用いられ、ビッグデータ解析やAI（人工知能）、ディープラーニング（深層学習）といった分野にも活用されています。

Hardware

ハードウェア

デスクトップ計算機
GPU計算機
Xeon Phi計算機
ラックマウント型計算機
ポータブル型計算機
大容量ストレージサーバ

サーバメモリ
インフィニバンド
フラッシュストレージ
無停電電源装置
サーバラック・静音ラック

Software

ソフトウェア

クラスタ管理ツール
ジョブスケジューラ
コンパイラ
構造・流体
マルチフィジクス
化学・量子化学
物理・電子
電磁界
可視化
数値解析
クラウド支援ツール

Set Up Service

セットアップサービス

OSセットアップ
GPUアクセラレータセットアップ
Deep Learningセットアップ
Singularityセットアップ
Deep Learning用サンプルプログラム
復旧用リカバリーUSB作成サービス
コンパイラセットアップ
各種アプリケーションのインストール代行作業

ネットワーク設定
MPI並列計算環境セットアップ
ジョブ管理ソフトセットアップ
クラスタ設定
RAID設定
設置サービス
訪問相談サービス

取得認証

ISO9001 : 2015 (品質の保証)

登録証番号 : GIJP-0193-QC

初回認証登録日 : 2018年10月1日

認証範囲 : HPC 製品（科学技術計算器）の組立・販売・サポート

ISO14001 : 2015 (環境にやさしく)

登録証番号 : GIJP-0193-EC

初回認証登録日 : 2018年10月1日

主要取引先

東京大学 京都大学 東北大学 大阪大学 九州大学 北海道大学 名古屋大学 筑波大学	東京工業大学 広島大学 横浜国立大学 早稲田大学 慶應義塾大学 明治薬科大学 慈恵医科大学	トヨタ自動車 デンソー 日本製鉄 鹿島建設 東芝 三菱電機	凸版印刷 ソニー オリンパス 住友電工 NTT 楽天	産業技術総合研究所 理化学研究所 海洋開発研究機構 宇宙航空研究開発機構 遺伝研 等
--	---	--	---	---

※敬称略、順不同

取り組み

品質環境方針

ISO認証を受けた国内の自社オフィスに製造専用ラインを持ち日々、熟練されたエンジニアが品質向上に取り組み、全ての計算機を一つ一つ手作業で生産しております。部品選定、検品、製造、エージングテスト、全ての項目を厳しくチェックし、高品質の製品をお届けします。



環境への取り組み

企業活動と地球環境との調和・安全の推進を行い、環境負荷の低減及び環境マネジメント継続的改善に取り組み、環境に優しい事業活動の継続的な推進を行います。開発、購入、製造、販売プロセスなど事業のあらゆる面で効率化を推進し、環境に優しい活動を推進します。製品やサービスの品質向上を図り、省資源化や廃棄物対策の推進に努めます。環境に配慮した製品やサービスの開発に努め、お客様へご提供します。グリーン購入の推進及び、製品のコストダウンをはかり、より一層の社会貢献を目指します。

- ▶ 環境関連法規制等の順守
- ▶ 環境保全活動の継続的な推進
- ▶ 環境省が推進する国民プロジェクト「チーム・マイナス6%」への参画

次世代のサービス産業の在り方をIT技術で 創造する企業を目指します。

代表取締役社長 下津 弘亨

当社は過去の事業再生ノウハウと新たに旅館事業におけるノウハウを持つことで、更なるサービス事業領域の強化を図って参ります。また当社グループにおいて、株式会社アドテック、株式会社パディネットにおいて、IoT 分野及び通信分野（5G やIoT 通信）において、この鬼怒川絆を様々な研究場所として、館内のお客様への利便性・快適性の追求やそこに働く従業員のための業務効率化や労働環境改善に向けた技術開発の追求を行って参ります。また地元密着で、IT 関連の実証実験や製品販売の推進、IT 技術を活用したイベント等の催し物等へのサポートなど多角的視点で、事業展開を図って参ります。

事業内容

旅館事業

栃木県の鬼怒川温泉において、ペットと泊まれる温泉旅館、「鬼怒川 絆」の運営事業をスタートさせました。鬼怒川の自然に包まれながらペットと過ごす最高のひと時を私達絆スタッフが最大限にサポートいたします。鬼怒川絆は、自慢の庭園を始め、会席料理、天然温泉、大切なペットと快適に過ごすことの出来る館内施設を運営し、また周辺の様々な施設との連携も進めております。

ペット商品事業

ペットとの暮らしにおけるニーズが複雑化、多様化している中、飼い主様とペットの利便性、快適さ、健康の向上をテーマに、ペットフードや飼育用品から保険まで、あらゆる種類のペット商品に関して、市場ニーズの把握から商品の企画、製造、輸入、販売までを行なう総合ペット商品事業の構築を目指して参ります。

IT事業

当社グループのノウハウを活かし、人口が減少する中で競争が激化する旅館、飲食店、小売店等BtoC ビジネスのIT 化、IoT化を推進する機器及びソリューション開発を行い、ビジネスの効率化、差別化推進に貢献して参ります。又、ペットとの暮らしのQOL 向上に貢献するものとして、昨今海外を中心に開発の進む、ペットの福祉、健康等に関するIoT機器の開発、製造、輸入、販売事業も推進して参ります。

取得認証

温泉利用（浴用）許可

許可番号：栃木県指令西保第3621-7号/8号/ 9号/ 10号/11号/12号/13号/14号 /
 15号/ 16号/17号/18号
 許可年月日：2020年8月27日

飲食業許可

許可番号：栃木県指令西保第10006242号
 許可年月日：2020年8月25日

旅館業許可

許可番号：栃木県指令西保第010500015号
 許可年月日：2020年8月28日

イベント事業

栃木県の鬼怒川温泉において、ペットと泊まれる温泉旅館、「鬼怒川 絆」の運営事業をスタートさせました。ここから地元の更なる発展に貢献することで、地元の活性化を行い、当旅館にお越しのお客様がさらに様々な過ごし方を演出できるようにしてまいります。その為に館内における催し物だけに留まらず地域との連携による様々な催し物の開催に向けた企画等を積極的に推進し、イベントの企画・運営を事業の一つとしております。

不動産事業

当社の行なう旅館業は、サービス産業であると同時に、装置産業であり、立地、不動産の性質が非常に重要な要素となることから不動産事業の性質を有しております。そのため、当社は、開業にあたり、将来の事業拡大を支えるため、不動産事業を重要な事業領域として行うことといたしました。不動産事業においては、デューデリジェンス、投資、再生、プロバティマネジメント、アセットマネジメント等総合不動産事業の構築をして参ります。

施設概要

名称：鬼怒川 絆
 住所：栃木県日光市鬼怒川温泉大原1422-4
 電話：0288-25-7733（鬼怒川絆予約係）
 メール：info@diamondpets.co.jp
 ホームページ：https://kizuna-kinugawa.com
 仲居ブログ：https://ameblo.jp/kizuna-kinugawa/





<https://www.akiba-holdings.co.jp/>